

水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借

建築工事、電気設備工事、機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺（Ａ１サイズ）
【 建築主体 】		
D-00	表紙・図面リスト	NO. SCALE
D-01	建築工事特記仕様書（その１）	NO. SCALE
D-02	建築工事特記仕様書（その２）	NO. SCALE
D-03	建築工事特記仕様書（その３）	NO. SCALE
D-04	建築工事特記仕様書（その４）	NO. SCALE
D-05	建築工事特記仕様書（その５）	NO. SCALE
D-06	案内図、建物求積図・求積表、配置図、敷地求積図	1/500
D-07	設計概要・室内仕上表	NO. SCALE
D-08	平面図・建具キープラン、法チェック表	1/50
D-09	立面図	1/50
D-10	断面図	1/50
D-11	断面詳細図	1/20
D-12	建具表	1/50
D-13	リース設備 基本図	1/75
D-14	基礎伏図	1/50
D-15	梁伏図・小屋伏図	1/50
D-16	軸組図	1/50
D-17	部材リスト	1/15
D-18	外部階段詳細図	1/15
D-19	壁ブレース詳細図	1/3
D-20	直接仮設図、土工事区分図（参考図）	1/50
【 電気設備 】		
E-01	電気設備工事特記仕様書	NO. SCALE
E-02	構内配置図	1/300
E-03	装柱図・端子盤図	NO. SCALE
E-04	電気設備図	1/50
【 機械設備 】		
P-01	構内配置図・１階平面図	1/300, 1/50

水産研究・教育センター増養殖支場（仮）仮設管理棟建設工事

工事特記仕様書

I 工事概要

1.工事場所

宮崎県延岡市熊野江町2453-11

2.敷地面積

19,757.85㎡

3.工事概要

建 物 名 称	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)	備考
仮設管理棟	軽鋼骨 プレース構造	2	72.27	128.92	

上記に係る建築主体（プレハブ（リース品））工事、電気設備工事、機械設備工事

II 建築工事仕様

1 共通仕様

(1)

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標仕」という。)による。

(2)

電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書、標準仕様書及び標準図を適用する。

(3)

本工事の事務処理に当たっては、宮崎県総務部営繕課制定の工事事務処理要領による。

2 特記仕様

(1)

章は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2)

項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3)

特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図、当該表を示す。

(4)

関係法令の改正等により(条例を含む)、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督員と協議すること。

別表-1

設備工事との工事区分表

●印は工事範囲とする

工 事 内 容		●印は工事範囲とする		
		本工事 (建築工事)	電気設備 工事	機械設備 工事
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤 ・ 制御盤の基礎		●
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)	●	
		テレビアンテナ基礎(〃)	●	
		避雷針の基礎 (〃)	●	
		屋内設備		
	機 械 関 係	屋上設備 (架台、アンカーボルトを除く)	●	●
		屋外設備		
		架台、アンカーボルト(電気及び機械関係以外)	●	
		特記した基礎(電気及び機械関係以外)	●	
		梁、床、壁		●
開 口 部	貫通スリーブ		●	
	梁、床、壁		●	
	貫通部型枠		●	
	軽鋼骨下地、壁、天井ボード類の切込		●	
	埋込分電盤、端子盤等の型枠		●	
	断熱材兼用型枠の切込		●	
	上記開口部の補強		●	
	上記開口部の墨出し		●	
	スリーブの穴埋め (型枠の穴埋めを含む)		●	
	0Aフロア用配線器具		●	
点 検 口	床、壁、天井	●		
外部取付カッ	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む	●		
湯沸室のフード		●		
換気扇の取付枠		●	●	
流 し 台	排水トラップ共	●		
防 油 堤	オイルサーピスタンの防油堤		●	
床下マンホールの蓋	タンク基礎	●	●	
屋外排水管	雨水	●		
汚水、雑排水			●	
雨水立管 (たてどい)		●		
手すり	多機能便所	●	●	
化粧鏡	上記以外	●		
はめ込形洗面器用カウンター (前板共)		●	●	
ガスボンベ転倒防止用の鎖		●	●	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ	●		
	防火扉レリーズ		●	
	電極棒		●	
	既製間仕切壁(パネル工法)の配管及び埋込ボックス	●		
ガス漏れ検知器	配線ピット及びふた	●		
	別途機器などへの接続		●	
電 気 錠	電気錠及び通電金具	●		
	YENキー及び制御盤		●	
ユニットバス、ユニットバス内水栓		●		
ユニットバス換気扇			●	
ユニットバスへの給水給湯管、排水管接続			●	
洗濯機パン			●	
システム天井	ボード・Tバー	●		
	照明ライン設備プレート		●	
	空調ライン設備プレート		●	

①

各章共通事項（続き）

○ 適用基準等

建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (令和4年改定)
・ 構内舗装・排水設計基準 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (平成27年版)
・ 建築基準法施行令第87条に基づく風圧区分等
○ 基準風速(Vo) (34) m/s
○ 地表面粗度区分 ・ I ○ II ・ III ・ IV
○ 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(39)

○ 設備工事との取り扱い

施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による。
施工図等 設備機器の設置、取り扱い等が検討できる施工図を提出すること。
監督員の承諾を受けること。

・ 実施工程表

○ 施工図等の取扱い

○ 電気保安技術者

○ 施工条件

○ 発生材の処理等

○ 建築材料等

・ 特別な材料の工法

○ 技能士

○ 化学物質の濃度測定

○ 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (令和4年改定)
・ 構内舗装・排水設計基準 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 (平成27年版)
・ 建築基準法施行令第87条に基づく風圧区分等
○ 基準風速(Vo) (34) m/s
○ 地表面粗度区分 ・ I ○ II ・ III ・ IV
○ 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(39)

施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による。
施工図等 設備機器の設置、取り扱い等が検討できる施工図を提出すること。
監督員の承諾を受けること。

・ 概成工期 (令和 年 月 日)

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。

○ 配置する ・ 配置しない

標仕1.3.5(1)以外の施工条件
・ 図示 ○ 現場説明書による

・ 引渡しを要するもの (・ 金属類 ・ PCB含有物 ・)
○ 引渡しを要するもの以外 ○ 構外搬出適正処理とする
・ 再利用又は再資源化を図るもの ()

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)
・ 対象建設工事
対象建設工事を受注予定の業者は、特定建設資材に係る分別解体等に関する省令で定める様式第1号及び別表1～3のうち当該工事に該当する別表、工程表を作成し、契約締結前に監督員に提出、説明するものとする。
対象 建築物の種類 規模の基準
対象 建築物の解体 床面積の合計 80㎡以上
建設 建築物の新築・増築 床面積の合計 500㎡以上
工事 建築物の修繕・模様替(リフォーム等) 請負代金の額 1億円以上
建築物以外ものの解体・新築等(土木工事等) 請負代金の額 500万円以上

○ 対象外建設工事

本特記仕様書の各章における下地材、接着剤、仕上げ材、塗料材、家具等のホルムアルデヒド放散量
○ F☆☆☆☆ ○ 屋内 ・ 屋外 部位等 (・ 図示による ・)

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示の無い材料及び製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定、免許又はこれらに準じるものを取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(一社)公共建築協会他)が発行する資料等の写しを監督員に提出して承諾を受けるものとする。
また、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受けること。
木材については、宮崎県産材を使用するよう努めるものとする。

標仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定する工法とする。

本工事中において、下記の○印は1級技能士を、○印は1級技能士又は2級技能士を適用すること。
工事科目 職 種 作業の種別
仮設工事 とび ○ とび作業
鉄筋工事 鉄筋施工 ・ 鉄筋組立て作業
型枠工事 型枠施工 ・ 型枠工事作業
左官 左官 左官作業
とび とび作業
防水工事 防水施工 ・ アスファルト防水工事作業
・ 改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業
・ 合成ゴム系シート防水工事作業
・ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・ シーリング防水工事作業

木工事 建築大工 ・ 大工工事作業
屋根及びとい工事 建築板金 ・ 内外装板金作業
左官工事 左官 左官作業
建具工事 サッシ施工 ・ ビル用サッシ施工作業
ガラス施工 ガラス工事作業
塗装工事 塗装 ・ 建築塗装作業
内装工事 鋼製下地 ・ 鋼製下地工事作業
表装 壁装製作作業
畳製作 畳製作作業
造園 造園 造園工事作業

(1棟の延床面積が1000㎡を超える建築物又は植栽工事で工事金額が500万円を超える工事は、原則として1級技能士とする)

厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告すること。
なお、測定機器は受注者が購入すること。
測定対象室及び測定箇所数
○ 一般庁舎等 (執務室)
・ 学校施設等 ()
・ 県営住宅等 (戸)以上かつ各住戸2室以上
・ 仕上げ表による

実施する場合の測定対象の化学物質及び温度指針値(25℃の場合)
○ ホルムアルデヒド(0.08ppm) ○ トルエン(0.07ppm) ○ キシレン(0.05ppm)
・ ベンゼン(0.04ppm) ○ 3,4-ジクロロベンゼン(0.88ppm) ○ スチレン(0.05ppm)

測定法
○ 蒸気拡散式分析法(測定パッジ) ・ 定電位電解法 ・ 検知管法
・ 検知紙法 ・ 吸光度法 ()

②

仮設工事

○ 監督員事務所

○ 工事用水、電力、その他

・ 足場その他

○ 設ける
規模 ・ () ㎡程度
仕上げ 監督員の指示による。
設備 ・ 電灯 ・ 給排水 ・ 空調 ・ ()
備品 ・ 机 ・ イス ・ 長靴 ・ かっぱ ・ 保安帽 ・ 懐中電灯
() ・ ()
○ 設けない(但し、受注者事務所に打合せスペースを確保すること)

本工事に必要な工事用水、工事用電力(基本料金を含む)及び官公署等への諸手続、その他建築物引き渡しまでに要する費用は、全て受注者の負担とする。
構内既存の施設
・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない
工事用水 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない
工事用電力 ・ 利用できる (・ 有償 ・ 無償) ○ 利用できない

屋根面に設ける足場と装備機材の組合せ
・ 別途 ・ 図示

③

土工事

○ 埋戻し及び盛土

○ 建設発生土の処理

・ 山留の撤去

材料及び工法
○ 標仕(表3.2.1)による
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種
C種の場合
(発生場所)
(発生場所)
(連絡先)
(運搬 ・ 発生原因者側 ・ 本工事)
・ 材料 () 工法 ()

・ 構内指示の場所にたい積
○ 構内指示の場所に敷き均し
・ 構外搬出適正処理
・ 構外指示の場所に搬出
受け入れ場所 () 搬出距離 (km)
上記に示す指示等の実施にあたっては、監督員と協議のうえ決定する。

鋼矢板等の抜き後 ・ 砂で充填 ・

④

地盤工事

○ 地盤調査の結果

○ 支持地盤

・ 杭基礎

○ 直接基礎

長期設計支持力度
○ (50) kN/m2 ・

試験値(根切り底)による支持地盤の確認
・ 行う 位置等は図示による () ・ 行わない
地盤の載荷試験
・ 行う 試験の位置、方法等は図示による () ・ 行わない

・ 杭地業等

・ 砂利地業

・ 捨コンクリート地業

・ 床下防湿層

・ 建設汚泥の処分

調査位置、柱状図、地層構成、地下水位
・ 図示による () ○ SWS試験、近接地点の標準貫入試験 (3.2.1)(4.2.4)(4.3.4、5)(4.4.4)(4.5.5、6)

・ 杭基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
・ 図示による () ・

○ 直接基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
・ 図示による () ・

建築工事特記仕様書(その7)

材料 ・ 再生クワッツァン ・ 切込砂利及び切込碎石 (4.6.2)

厚さ及び使用範囲 (4.6.3)
厚さ 使用範囲
・ 60 基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・ 図示 ()

コンクリートの仕様 (4.6.4)(6.14.1～3)
・ 無筋コンクリートによる ・
セメントの種類 (6.3.1)
・ 高炉セメントB種 ・

厚さ及び使用範囲 (4.6.4)
厚さ 使用範囲
・ 50 基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・ ()
設計基準強度 ・ 18N/㎡ ・
スラブ ・ 15cm ・ 18cm ・

・ 床下防湿層 (4.6.2、5)
施工範囲 ・ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下
()
材料 ・ ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・

・ 中間処分施設へ搬入、処理 ・ 構内中間処理、埋戻し ・ 管理型処分施設へ搬入

⑤

鉄筋工事

○ 鉄筋の種類

○ 鉄筋の継手

・ 鉄筋の定着長さ

○ 鉄筋のかぶり厚さ

○ 各部配筋

・ 圧接完了後の試験

・ 機械式継手

(5.2.1)(表5.2.1)
種類 呼び名(mm) 備考
○ SD295 ○ D16以下
・ SD345 ・ D19以上

継手方法等 (5.3.4)(5.5.2、3)
柱、梁の主筋 ・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手
耐力壁の鉄筋 ・ 重ね継手 ・
その他の鉄筋 () ・ 重ね継手 ・

隣り合う継手の位置
先組み工法等により、柱、梁の主筋の継手が同一箇所
・ 設ける (・ 図示による ・) ・ 設けない

機械式定着工法 (5.3.4)
・ 適用所
適用箇所 ・ 図示による () ・
種類 ・ 摩擦圧接接合 ・ 蝶合グラウト固定 ・ 嵌合グラウト固定
工法 ・ 第三者機関の評定等を取得している工法とする ・

・ 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所の最小かぶり厚さは下表による
施工場所 標仕(表5.3.6)の値に加える寸法(mm)
柱・梁・壁及び庇などの外気に接する ・ 10 ・
打ち放し面

最小かぶり厚さは目地底から算出する。

○ 図示による (各部配筋詳細図) (5.3.7)

抜取試験 ・ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.10)

使用箇所
・ 図示による () ・
性能 (H12建告第1463号に適合するもの)
・ A級 ・

種類
・ ねじ式鉄筋継手
充填方式
・ 無機グラウト方式 ・ 有機グラウト方式
・ 端部ねじ加工継手
・ モルタル充填式継手

鉄筋相互のあき
・ 評定等の評価内容による
・ 図示による ()

施工完了後の継手部の試験 (5.5.5)
・ 外観試験
試験項目 ・ 評定等の評価内容による ・
試験方法 ・ 評定等の評価内容による ・
・ 超音波測定試験
試験対象 ・ 全数 ・
不良となった継手の修正方法等
・ 図示による ・

宮崎県建築工事特記仕様書

宮崎県総務部営繕課 令和7年4月版

建築士事務所名 株式会社 ごとう計画・設計

一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第H-1080 号 一級建築士登録 第 310283 号

工事名称 水産研究・教育センター増養殖支場（仮）仮設管理棟建設工事

図面名称 建築工事特記仕様書（その1）

検図

図面番号 D 01

6

コンクリートの種類

コンクリートの設計基準強度

レディミクストコンクリートの類別

気乾単位容積質量

スランプ

コンクリートの仕上がり

セメントの種類

レディミクストコンクリート工場の選定

混和材料

打継ぎの位置
ひび割れ誘発目地
打継目地

打増し厚さ
(打放し仕上げ部)

型枠

軽易なコンクリート工事の試験

コンクリートの使用骨材による種類

○普通コグリート・軽量コグリート

普通コンクリートの設計基準強度 $F_c(N/mm^2)$

F_c	適用箇所
○ 21	基礎
.	.
.	.
.	.
.	.

軽量コンクリートの設計基準強度(27N/mm2以下)

図示による

類別 ○Ⅰ類・Ⅱ類

普通コンクリートの気乾単位容積質量

2.3t/m3程度

コンクリートの荷重し地点におけるスランプ

打込み箇所	スランプcm
・基礎	・15・18・
・基礎梁	・15・18・
・土間ｽﾗﾌﾞ	・15・18・
・柱、梁、ｽﾏｯﾌﾟ、壁	・18・
.	.

打放し仕上げの種別等

種別	適用箇所
・A 種	
・B 種	
・C 種	

○普通ポルトランドセメント、高炉セメントのA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種

高炉セメントB種 施工箇所（・場所打ちコンクリート杭）

ﾌ｛ｲｱｼｯｼｭセメントB種 施工箇所（ ）

JISマーク表示認証工場で、宮崎県生コンクリート品質管理協会会議の監査に合格した工場
上記工場で製造されたレディミクストコンクリートを使用する場合には、「品質管理監査合格证」の写し及び「配合報告書」のみの提出とし、セメント、骨材、練り混ぜ水、混和剤の試験成績表及び配合計算書の提出を省略することができる。

上記以外の工場

混和剤 種類

混合材 種類

打継ぎの位置

目地寸法

間隔、位置、形状

外部面(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分含む)

20mm

内部面(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分含む)

外装タイル後張り面の躯体表面の処理

MICR工法

せき板面にMICR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面は凹凸状態とする。

高圧水洗工法

高圧水洗工法の目安らしは、水圧50Mpa以上かつ、2.5分/mlとし、施工計画書を監督員に提出し承諾をうける。また、目安らしの状態は、事前に監督員に承諾を受ける。

コンクリートの増し打ち厚さ

20mm

せき板の材料及び厚さ

合板（・12mm）

断熱材を兼用した型枠材の使用

行う 適用箇所（ ）

行わない

コンクリートの用途が特に重要でない場合かつ小規模工事(総使用量が50m3未満かつ1日の打設量が10m3未満の場合)で、監督員の承諾を受けた場合は、JISマーク表示認証工場の品質証明書(監督員が指示するもの)の提出により、スランプ、空気量、単位容積質量、温度、塩化物量の試験及びコンクリート強度試験を省略することができる。

鉄骨工事

鉄骨の製作工場

鋼材

高力ボルト

アンカーボルト

柱底均しモルタル工法

溶接接合

デッキプレートの溶接

塗料の種類

耐火被覆

防火扉等の設置

溶融亜鉛めっき高力ボルト接合

製作工場の加工能力

建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として指定を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が、「()グレード」として評価し、国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

監督員の承諾する製作工場

配置する

配置しない

(7.1.3)(7.1.4)

鋼材の材質

(7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
SS400	形鋼、鋼板	○ J I S による ・ 大臣認定による
SSC400	軽量形鋼	○ J I S による ・ 大臣認定による
SWH400	軽量H形鋼	○ J I S による ・ 大臣認定による
SWH400L	軽量リップH形鋼	○ J I S による ・ 大臣認定による

高力ボルトの区分

トルンシア高力ボルト

セットの種類

○2種(F10T)

○ JIS形高力ボルト

セットの種類

○1種(F8T相当)

溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類

○1種(F8T相当)

摩擦面の処理方法

標仕7.4.2(1)による

すべり係数試験の実施

行う

行わない

試験方法等

図示による（ ）

本締付けにおけるJIS形高力ボルトをナット回転法で締め付ける場合の、ボルトの長さかねじの呼びの5倍を超える場合の回転量

図示による

その他()

アンカーボルト

構造用アンカーボルトの種類

図示による

その他()

建方用アンカーボルトの種類

図示による

その他()

柱底均しモルタル工法

無収縮モルタル

無収縮モルタルの材料、調合等

標仕7.2.9(2)(7)から(x)による

標仕7.2.9(1)によるモルタル

開先の形状

図示による(鉄骨標準図)

その他()

エンドタブの切断する部分

全て

見え掛り部となる部分

切除する部分無し

切断する範囲

図示による

その他()

切断面の仕上げ

標仕7.6.7(1)(a)(b)②

スカラップの形状

図示による(鉄骨標準図)

その他()

改良型スカラップ(建築鉄骨設計基準及び同解説 別図3.11)

完全溶込み部の超音波探傷試験

工場溶接の場合

全数検査

抜取検査

AOQL(%)

4.0

2.5

面

全て

第6水準

検査水準

第6水準

工事現場溶接の場合

全数検査

計数連続生産型抜取検査

AOQL(%)

4.0

2.5

デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法

焼抜き栓溶接（・手動・自動）

図示による

その他()

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面

塗料の種類

標仕(表18.3.1) A種

○ 図示

耐火被覆材の接着する面

適用箇所

図示による

○ 種

標仕(表18.3.1)

耐火被覆

(7.9.2～7)

種別	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けﾊｳﾀｰﾙ ・半乾式吹付けﾊｳﾀｰﾙ ・湿式ﾊｳﾀｰﾙ		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸ｶﾞｰﾐﾝｸﾞ板		
・耐火材巻付け	・高断熱ﾊｳﾀｰﾙ		
・ﾌﾛﾄﾞﾘﾝｸﾞｷｯﾄ塗り	-		
・耐火塗料	-		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとするとする

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

種別

A 種

B 種

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法

種別

図示による

柱底均しモルタルの工法の種別

A 種

B 種

(7.10.3)(表7.10.2)

柱底均しモルタルの厚さ

図示による

その他()

摩擦面の処理

プラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又はリン酸処理

すべり係数試験

試験方法

「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による

8

コンクリート成形リセットメンプ板クエールパネル

防水工事

9

防水工事

改質アスファルトシート防水

ALCパネル

ALCパネルの区分等

(8.4.2～8)

区分	単位荷重(N/m ²) 正荷重 負荷重	厚さ(mm)	幅及び長さ	耐火性能	接合の種別
・外壁用	・一般・平 ・コーナー・意匠	・100	図示による	・なし ・1時間	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般・平 ・コーナー・意匠	・100	図示による	・なし ・1時間	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	- -	・100	図示による	・30分 ・1時間	・F種
・床用	- -	・100	図示による	・1時間 ・2時間	-

・n,n相互の接合部に挿入する耐火目地材

外壁、屋根n,nの構法

適用区分による風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法

外壁n,n構法及び間仕切壁n,n構法における耐震性

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合

図示

外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り付け部の目地幅(mm)

10～20

外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填

適用する

適用しない

n,nの種類

形状

厚さ(mm)

幅(mm)

工法

耐火性能

・外壁n,n

・F

・F-R

・50

・450

・A種

・30分

・D

・D-R

・60

・600

・B種

・1時間

・T

・T-R

・100

・2時間

・間仕切壁n,n

・F

・F-R

・50

・450

・B種

・30分

・D

・D-R

・60

・600

・C種

・1時間

・T

・T-R

・100

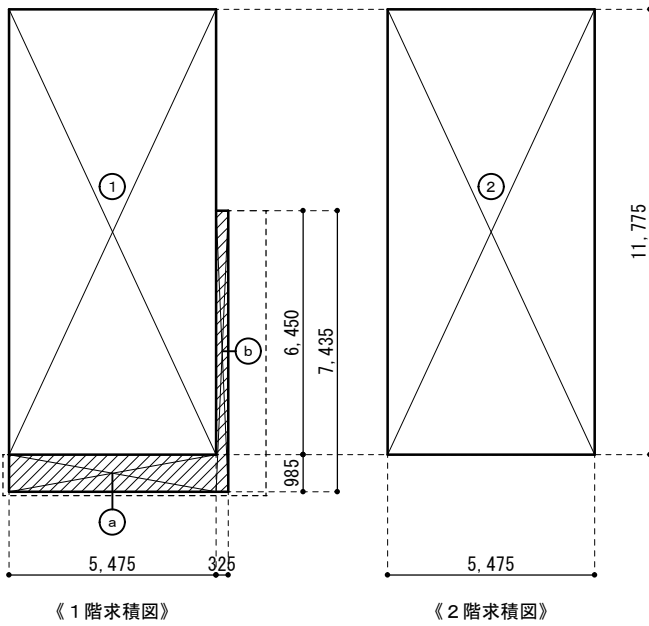
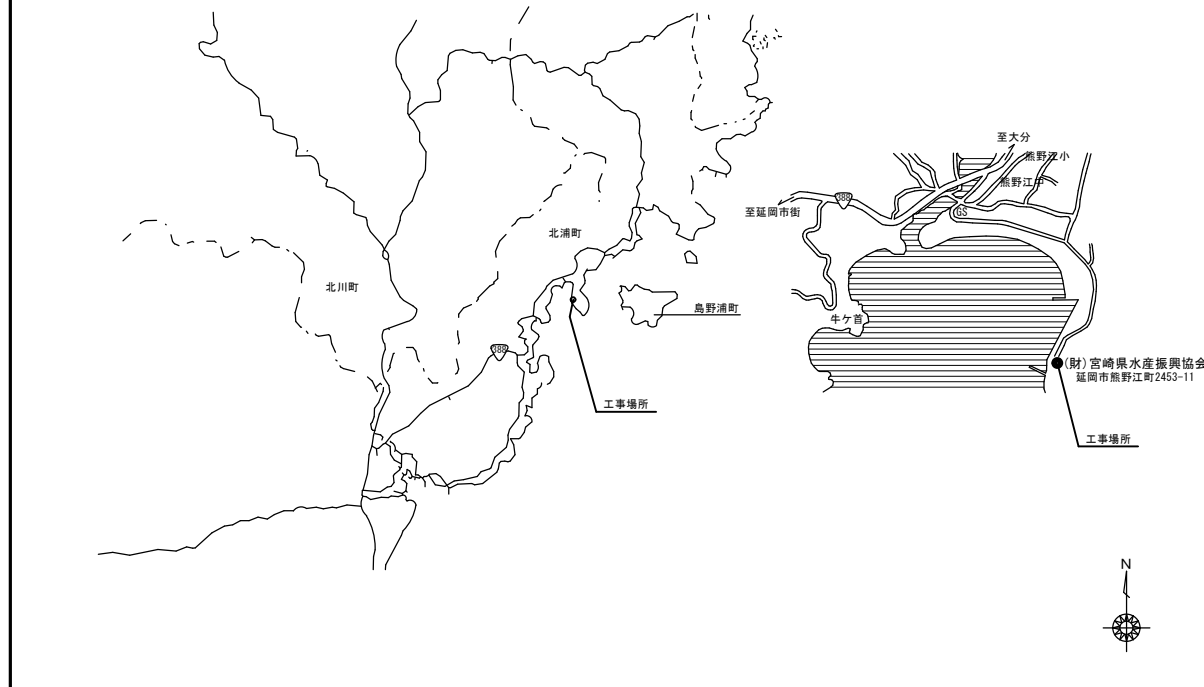
・2時間

注1 F：ﾌ｛ｯﾄﾞﾘﾝｸﾞ n,n、D：ﾃﾞｻﾞ

[illegible]

[illegible]

案内図



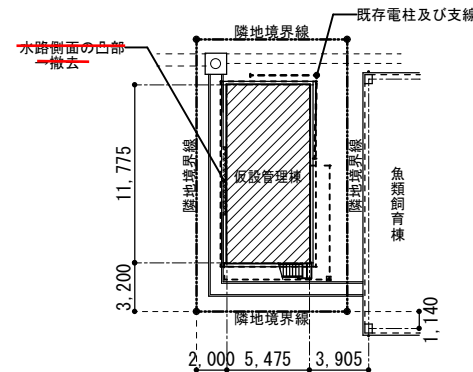
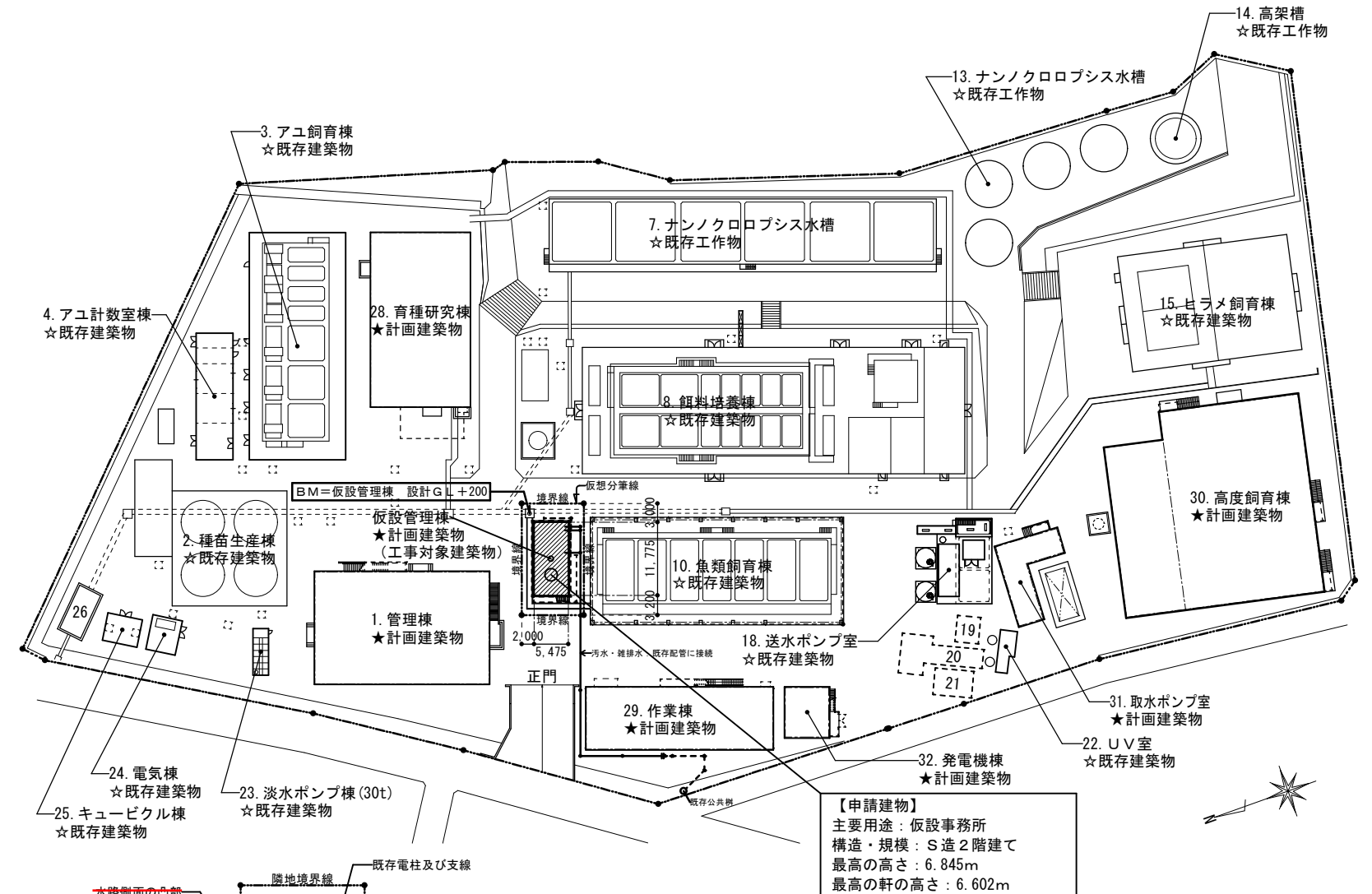
倉庫 1階 床面積求積表 ※最終 小数点3位切捨て				
階	番 号	計 算 式	少々計 (㎡)	少計 (㎡)
1 階	①	5.475 × 11.775		64.4681
1階一計				64.4681 ↓ 64.46

倉庫 2階 床面積求積表 ※最終 小数点3位切捨て				
階	室 名	計 算 式	少々計 (㎡)	少計 (㎡)
2 階	(2)	5.475 × 11.775		64.4681
1階—計				64.4681 ↓ 64.46

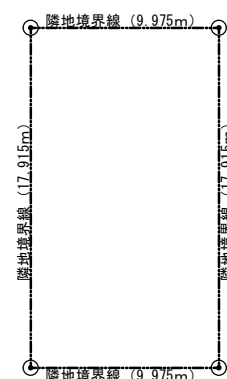
倉庫 延床面積	
1階 床面積 (㎡)	64.46
2階 床面積 (㎡)	64.46
延床面積	128.92

倉庫	建築面積	※最終	小数点3位切捨て	
番号	計 算 式			少計 (㎡)
	1階 床面積(㎡)			64.4681
	5.475	×	0.985	5.3929
	0.325	×	7.435	2.4164
建築面積-計				72.2774 ↓ 72.27

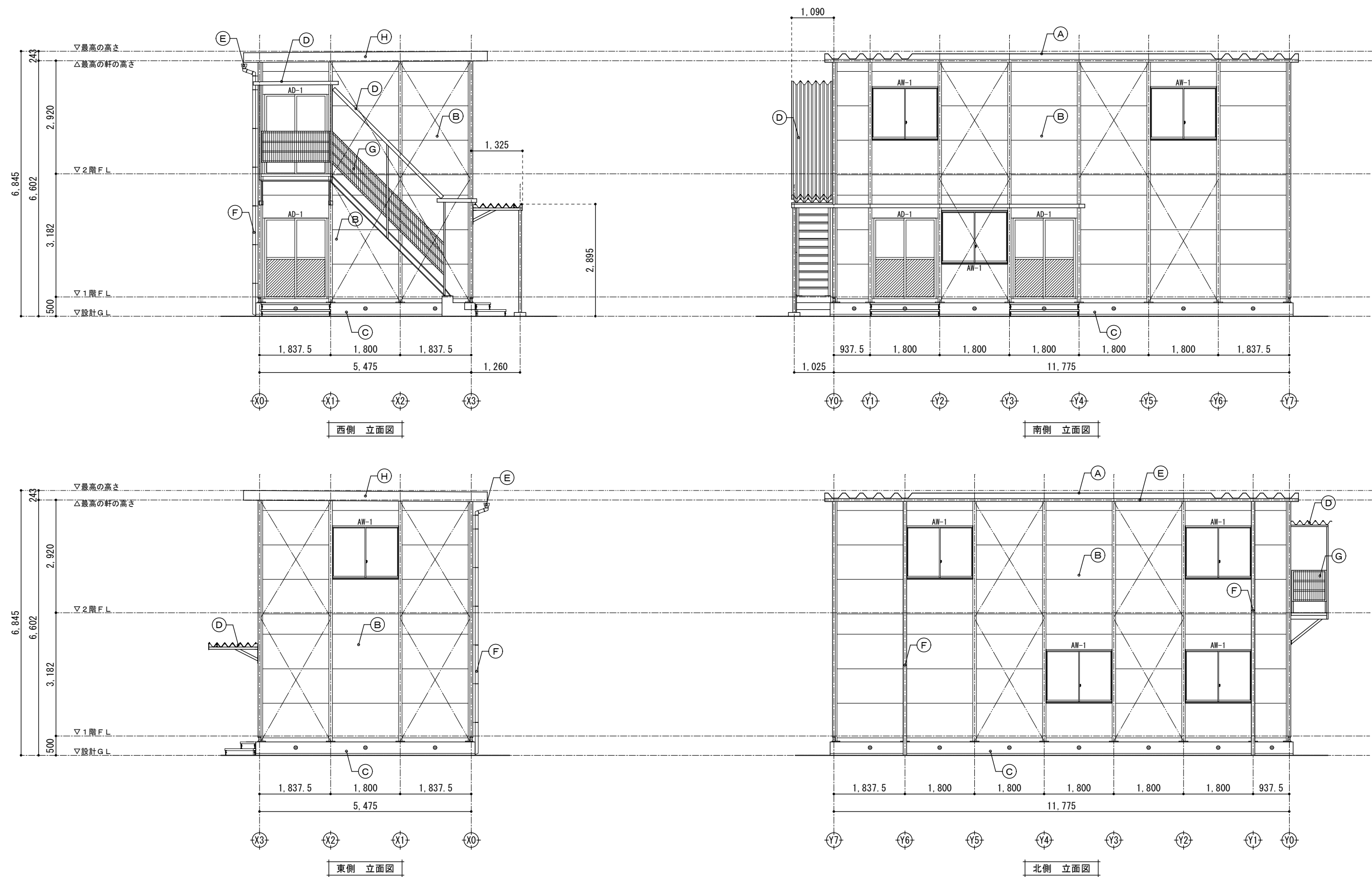
配置図

$$= 1/500$$


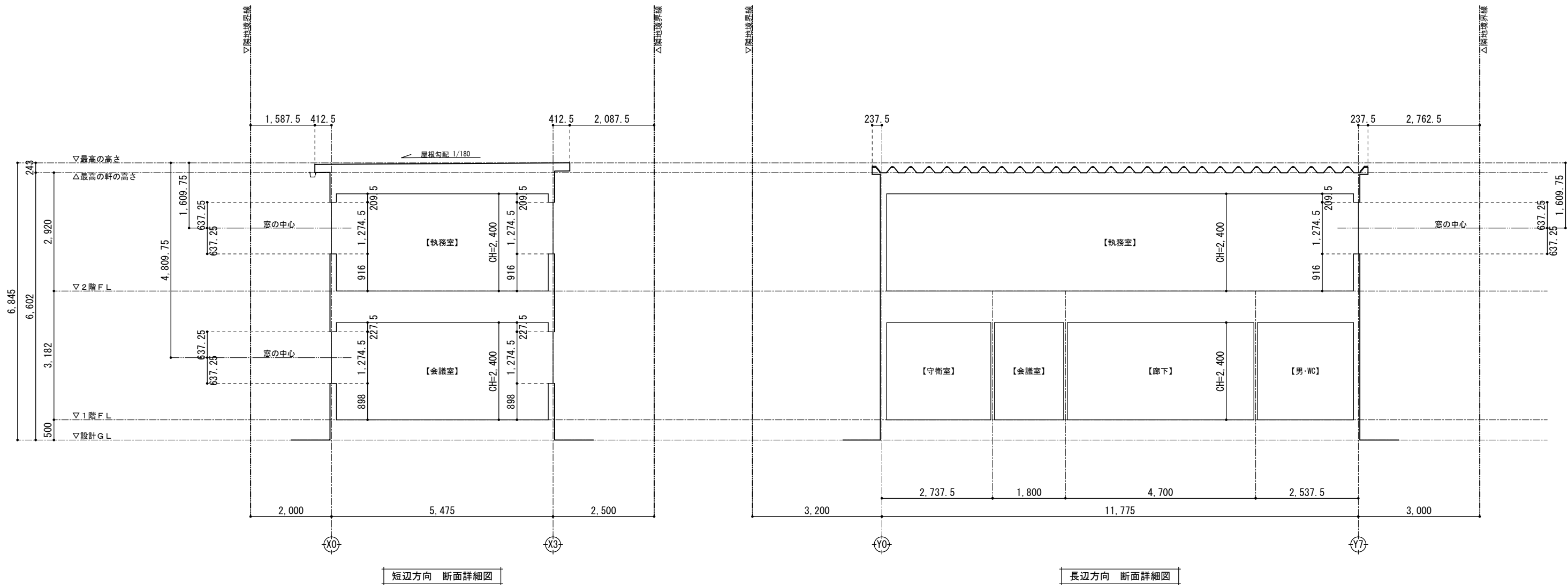
1	管理棟	9	欠番	17	欠番	25	キュービクル棟
2	種苗生産棟	10	魚類飼育棟	18	送水ポンプ室	26	排水ビット
3	アユ飼育棟	11	欠番	19	欠番	27	欠番
4	アユ計数室棟	12	欠番	20	欠番	28	育種研究棟
5	欠番	13	ナンノクロロブシス水槽	21	欠番	29	作業棟
6	欠番	14	高架水槽	22	UV室	30	高度飼育棟
7	ナンノクロロブシス水槽	15	ヒラメ飼育棟	23	淡水ポンプ棟 (30t)	31	取水ポンプ室
8	餌料培養棟	16	欠番	24	電気棟	32	発電機棟

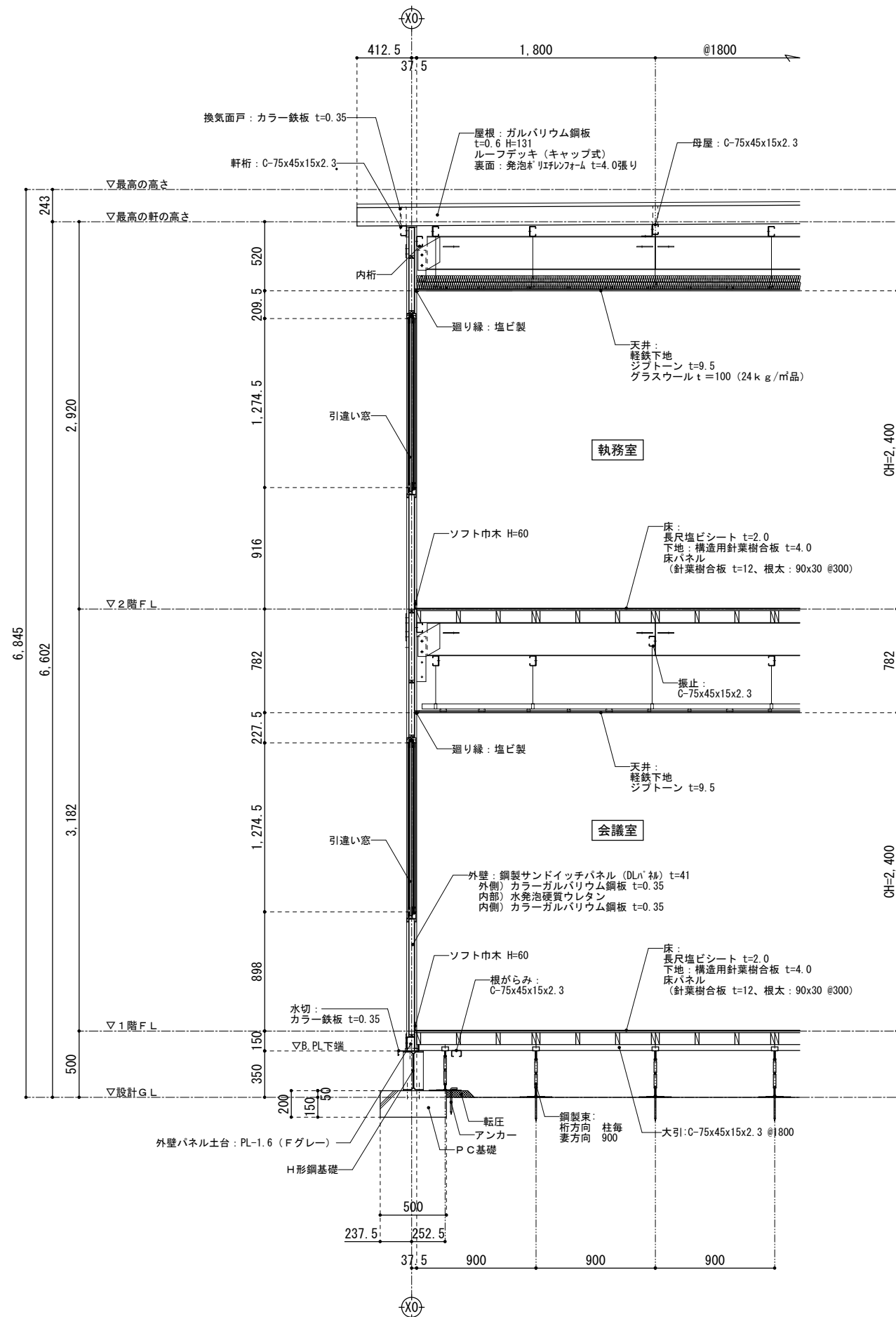


《 仮想分筆敷地面積 》
 9.975×17.915
 $= 178.7024 \rightarrow 178.70\text{m}^2$
 ※ (敷地全体 : $19,757.85\text{m}^2$)

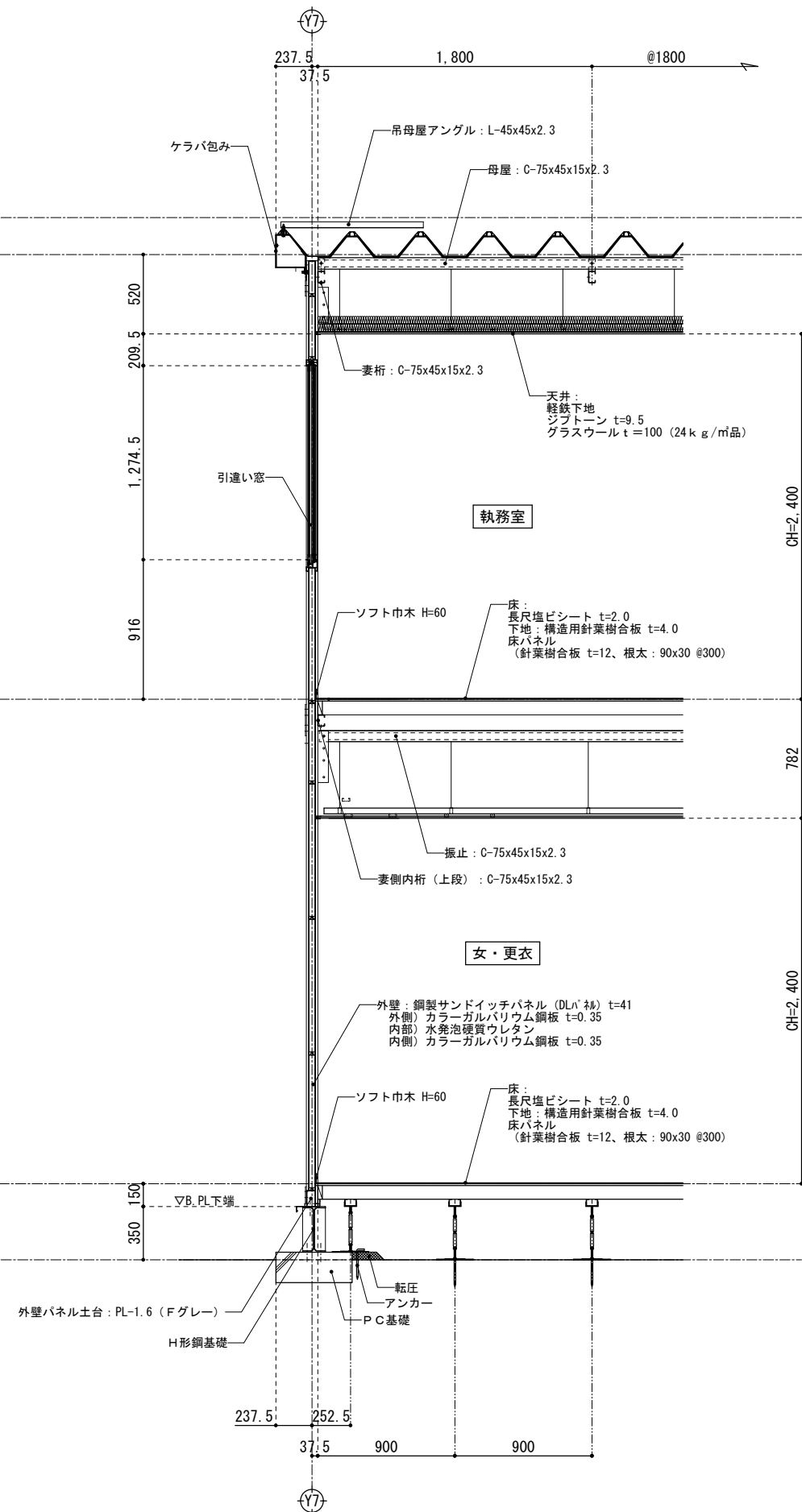


外部仕上げ 凡例				
(A)	屋根 ガルバリウム鋼板折板葺き t=0.6 H=131	(D)	底屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.5 H=88	【その他】
(B)	外壁 鋼製サンドイッチパネル t=41	(E)	軒どい 塩ビ製角樋 U120	
(C)	外部幅木 H形鋼基礎表し	(F)	竪どい 塩ビ製 φ75	
		(G)	腰壁 鉄骨格子組+カラー鉄板張り t=0.16	
		(H)	ケラバ包み 屋根同材	



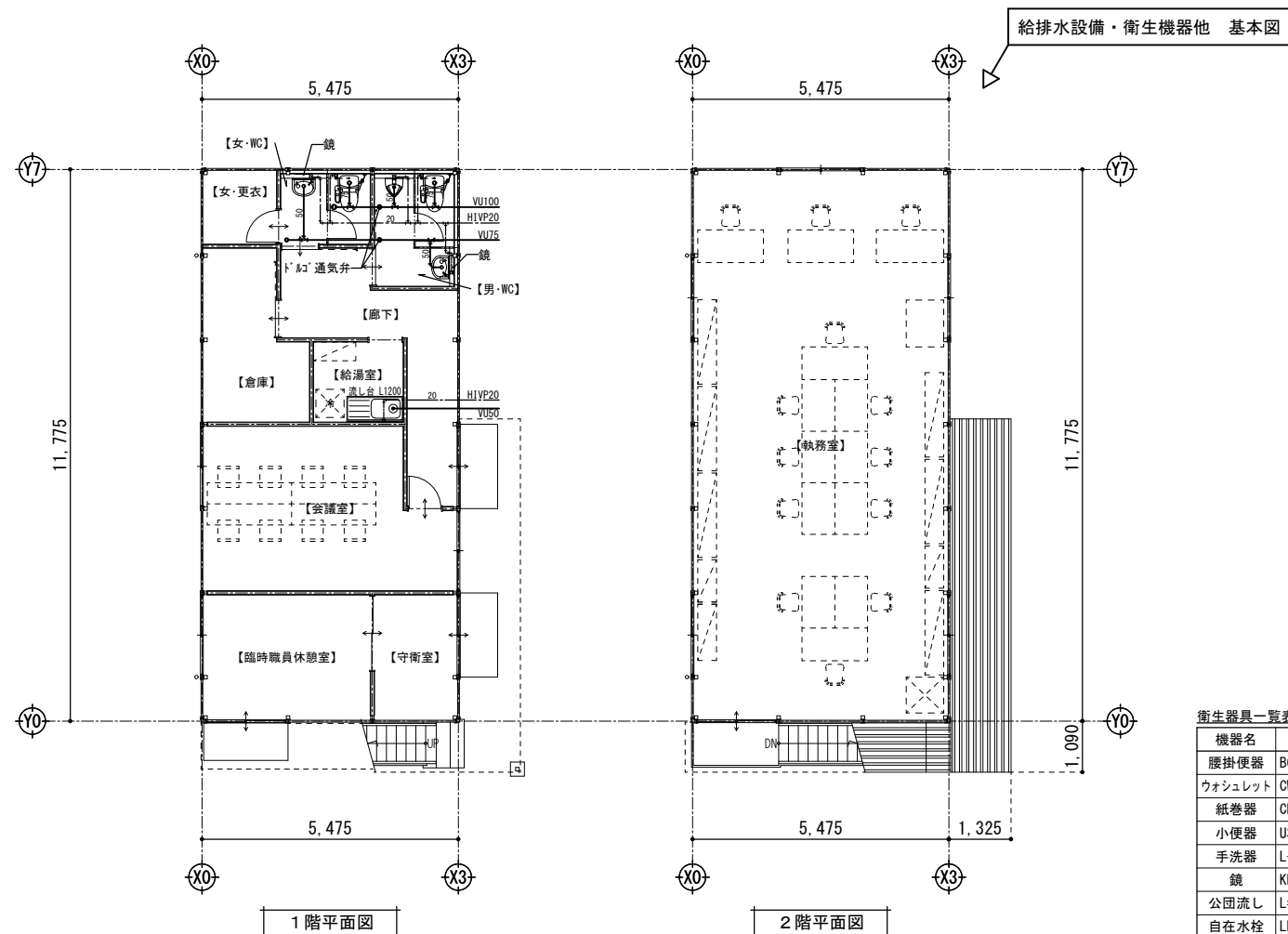
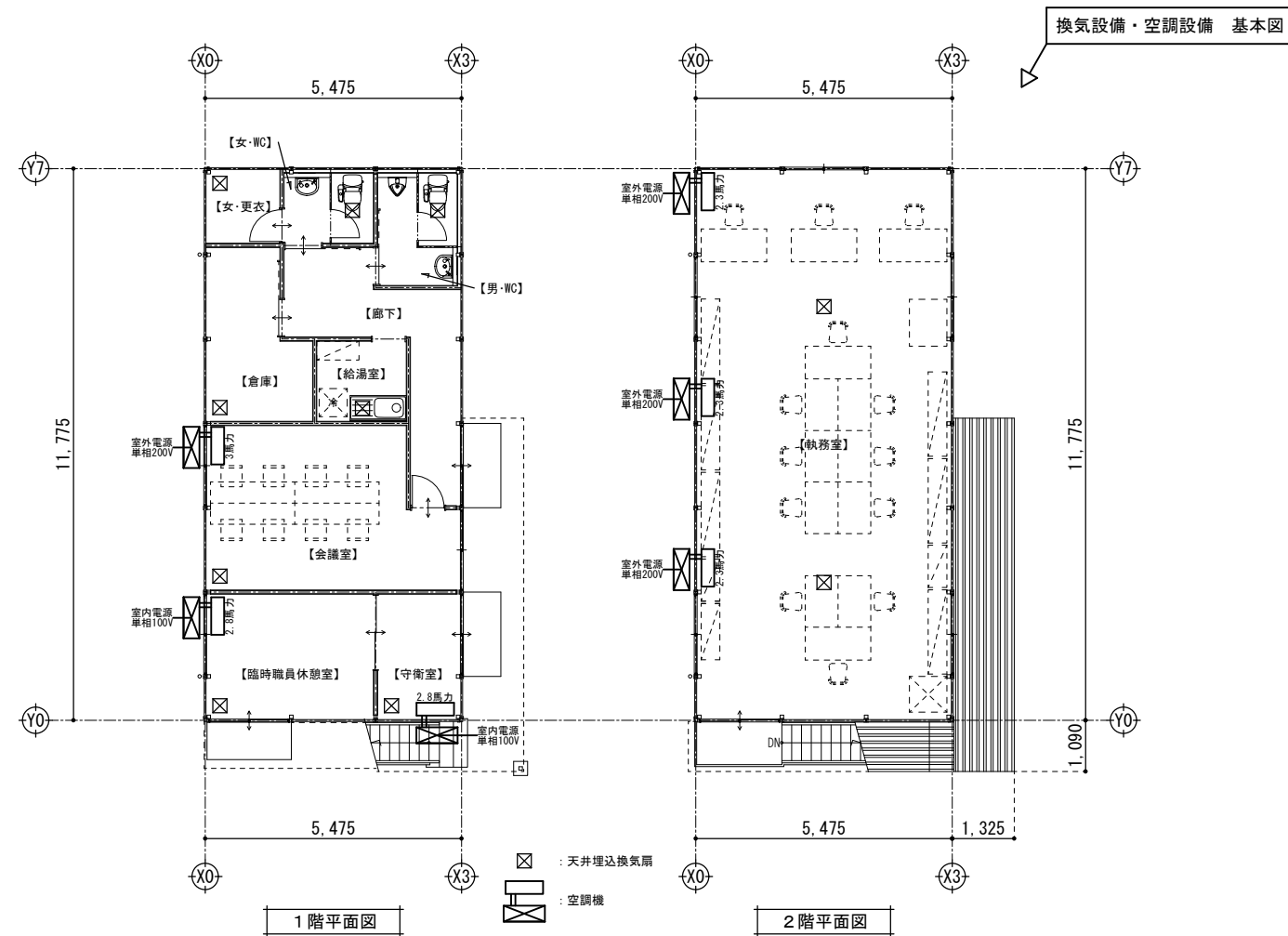
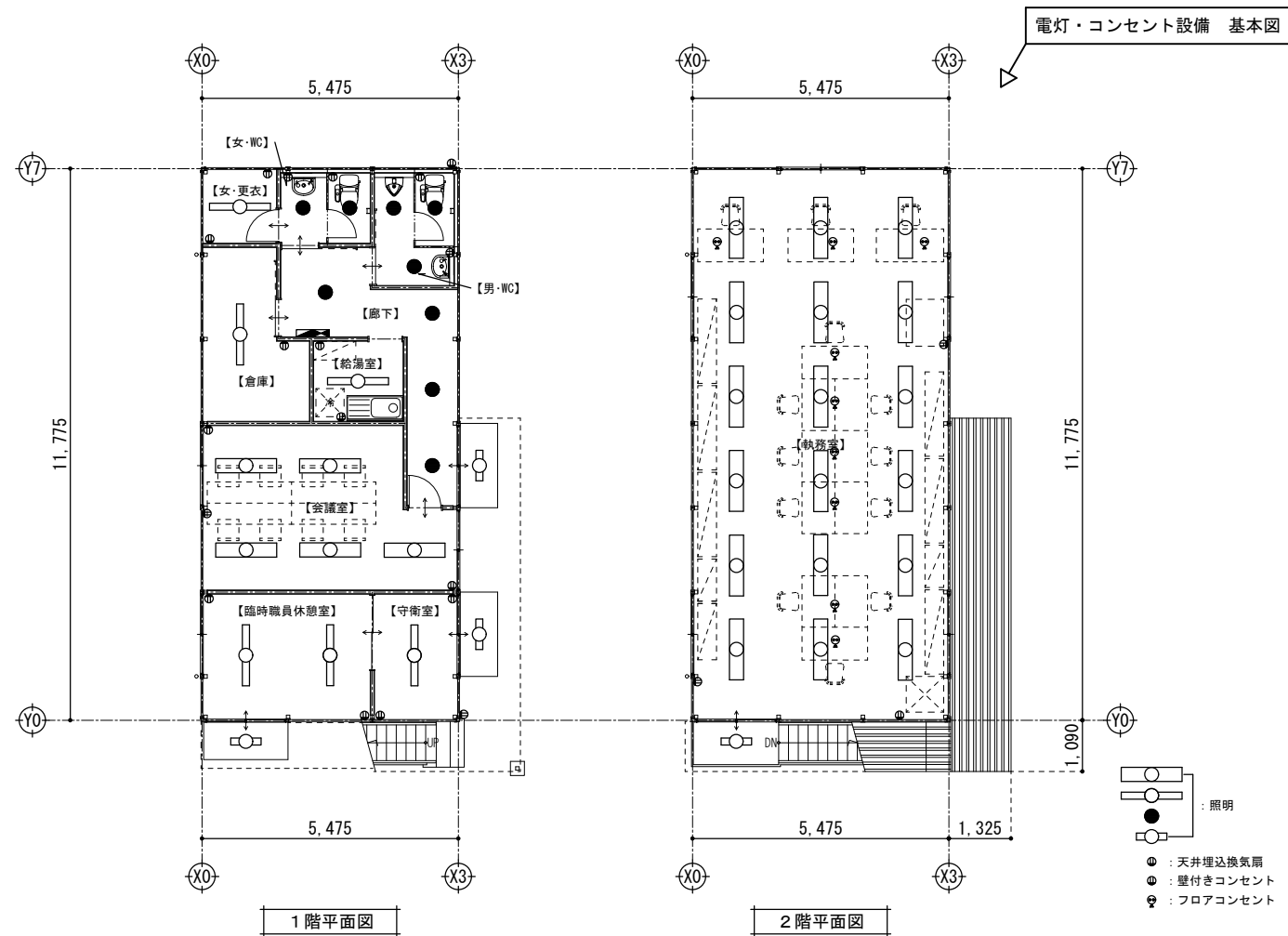


短辺方向 断面詳細図

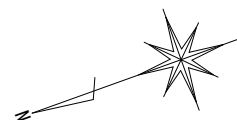


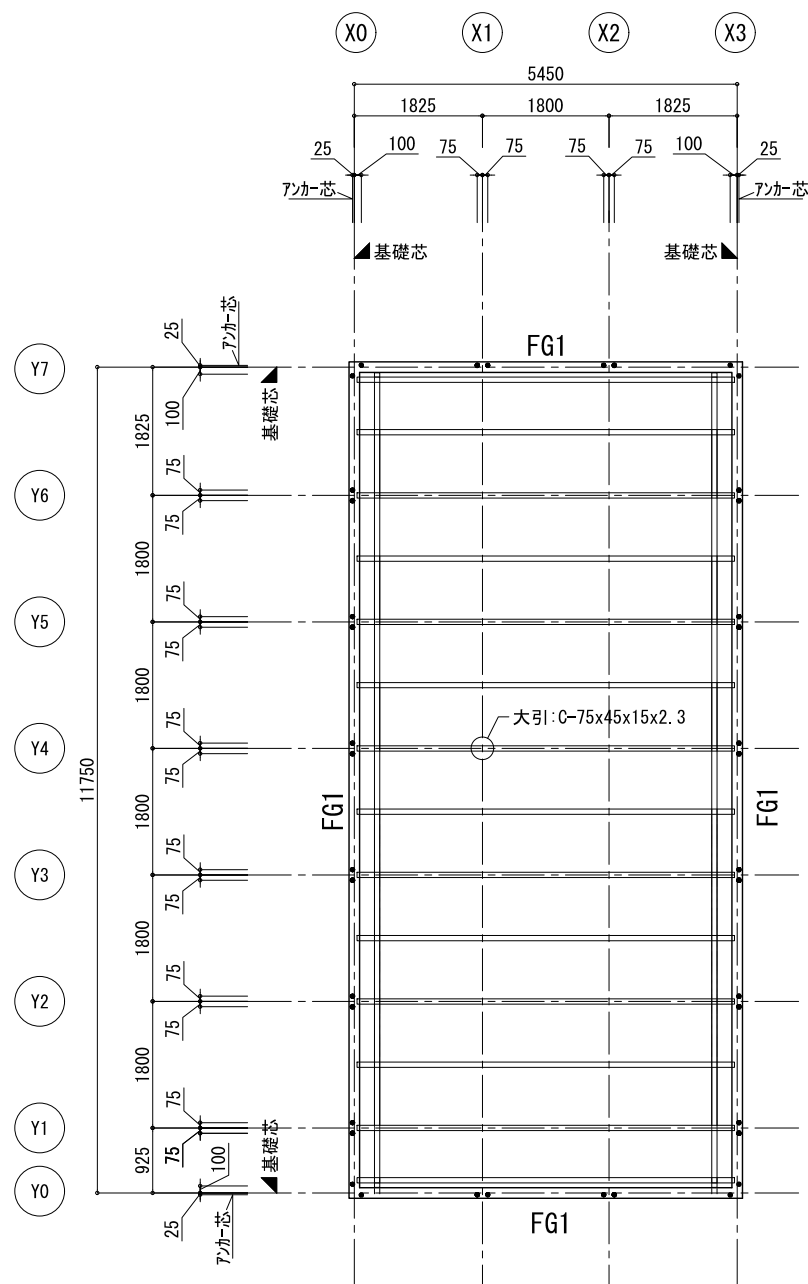
長辺方向 断面詳細図

符号・設置場所・数量			1階：臨時職員休憩室、会議室 2階：執務室		1階 3	2階 5	1階：臨時職員休憩室、守衛室、廊下 2階：執務室		1階 3	2階 1														
形状・寸法			▽天井ライン				▽F.L.		《1階》		《2階》		※クレセント高さはFL+1,500以下											
型 式			アルミニウム製建具 引違い窓		アルミニウム製建具 引違い戸		アルミ(シルバー)		70		上：F.L.3 下：アルミ複合板		引手、S.U.S.番指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車											
材種・仕上げ			アルミ(シルバー)		アルミ(シルバー)		70		上：F.L.3 下：アルミ複合板		引手、S.U.S.番指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車		他付属金物一式											
枠見込(厚見込)			70		70		上：F.L.3 下：アルミ複合板		引手、S.U.S.番指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車		他付属金物一式													
硝 子			F.L.3		上：F.L.3 下：アルミ複合板		引手、S.U.S.番指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車		他付属金物一式															
付 属 金 物			クレセント、戸車		引手、S.U.S.番指、こり出し錠(外部)、クレセント(内部)、戸車		他付属金物一式																	
備 考																								
符号・設置場所・数量			1階：倉庫、女・WC、男・WC		1階 3	2階 5	1階：女・更衣		1階 1	2階 5	1階：守衛室		1階 1	2階 5	1階：会議室		1階 1	2階 5	1階：給湯室		1階 1	2階 5		
形状・寸法			▽F.L.				▽F.L.				▽F.L.				▽F.L.				▽F.L.					
型 式			木製建具 片引き戸		木製建具 片開き戸		木製建具 引違い戸		木製建具 片開き戸		木製建具 三方枠													
材種・仕上げ			化粧シート張り		化粧シート張り		化粧シート張り		化粧シート張り		化粧シート張り													
枠見込(厚見込)			155(30)		115(30)		155(30)		115(30)		115													
硝 子			—		—		—		—		—													
付 属 金 物			引手、丸型表示錠、クローザー、明り窓、調整戸車		レバーハンドル、ケース錠、調整ラッチ受け、丁番		引手、クローザー、調整戸車		レバーハンドル、ケース錠、調整ラッチ受け、丁番		他付属金物一式													
備 考																								
符号・設置場所・数量			1階：女・WC		1階 1	2階 5	1階：男・WC		1階 1	2階 5														
形状・寸法			▽F.L.				▽F.L.																	
型 式			トイレブース		トイレブース																			
材種・仕上げ			ポリ合板		ポリ合板																			
枠見込(厚見込)			30		30																			
硝 子			—		—																			
付 属 金 物			表示付スライドラッチ、丁番		表示付スライドラッチ、丁番																			
備 考																								
建 具 符 号	記 号	扉(D)	窓(W)	ガラリ(G)	シャッター(S)	枠(F)	PS扉(PS)	ガ ラ ス 符 号	種 類	符 号	種 類	符 号	音 指 の 符 号・ 形 状	種 類	符 号	1 2 3 4	建 具 性 能 等	・アルミニウム製建具の仕様は、特記 仕様書及び共通仕様書による。	共 通 事 項	1	位置・開き勝手等は平面図又は建具キープランによる。	9	防火設備、特定防火設備及び防煙垂れ壁に該当する部分のドアクローザーはストッパーなしとする。	
	ステンレス製(SS)	SSD	SSW	SSG	SSS	SSF	PSSD		型 板	F	熱線吸収網入磨き板	HAPW		L	ステンレス製					SS	2	符号数字横のBは防火設備(防火戸)、Tは特定防火設備を示す。	10	引き戸は自閉式とし、完全に閉まる前に一旦止まってから閉まる形式のものとする。
	銅 製(S)	SD	SW	SG	SS	SF	PSD		フロート板	FL	合わせ	L		鋼 製	S					3	上記寸法は枠内法有効寸法を示し、製作図作成・製作にあたっては再度現場調整を行うこと。(タイル割付等)	11	外部に面するガラリは全て防虫網付きとし、ガラリ形状は、外部は水返し付ガラリ、内部は山形ガラリとする。	
	銅 製 軽 量(LS)	LSD			LSS				網入型板	FW	強化透明	T		黄 銅 製	B					4	建築基準法上の採光窓(扉)・換気窓(扉)・排煙窓(扉)となっている建具は、上記有効寸法以上確保すること。	12	建具の色については色見本確認の上決定すること。	
	アルミニウム製(A)	AD	AW	SSW		AF			線入型板	FWL	強化型板	FT		木 製	W					5	排煙窓の開き角度は4.5度以上とする。	13	Low-Eは「日射取得型」。	
	木 製(W)	WD	WW	WG		WF			網入磨き板	PW	複 層	SI		テ ラ ソ 製	T					6	内部建具の枠見込みは参考とし、壁厚(仕上げ含む)+20mm~+30mmを標準とする。	14		
	ふ す ま	H							線入磨き板	PWL	ガラスブロック	GB		テラソブロック製	TB					7	建具金物は原則としてSUS製とし、見本品提出の上決定とする。	15		
	障 子	P							熱線吸収磨き板	HA	空気層	A								8	戸当りは原則床付きとし、外部に面する開き戸の戸当たりはアオリ止め付きとする。	16		

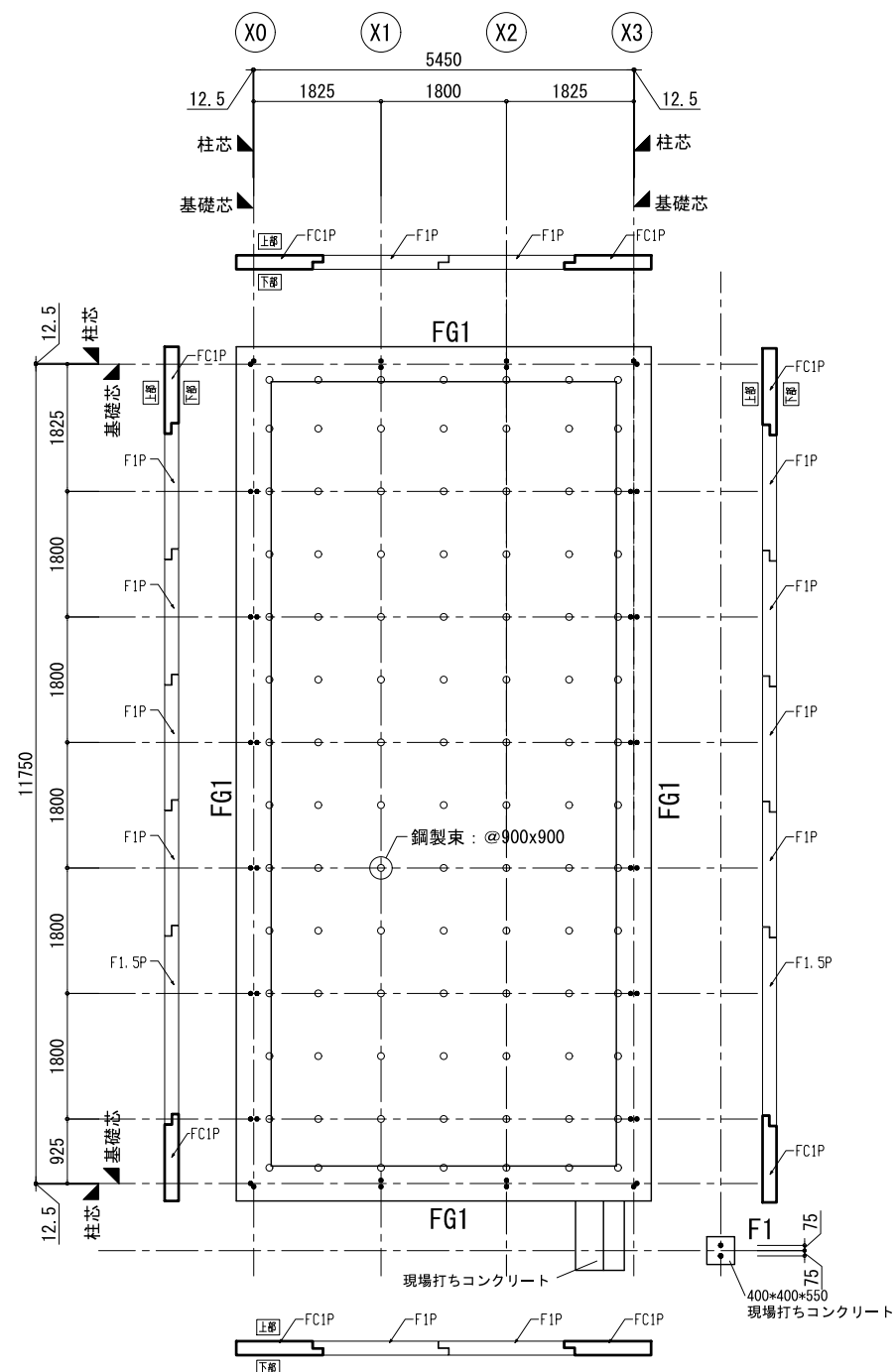


衛生器具一覧表				
機器名	品番 (同等品)	数量	単位	備考
腰掛便器	BC-110STU / DT5500BL	2	セット	リサイクル品
ウォシュレット	CW-KB32	2	セット	リサイクル品
紙巻器	CF-AA22H	2	個	リサイクル品
小便器	U331RM / UF-3J (押しボタン式)	1	セット	リサイクル品
手洗器	L-132G / LF-3JT/ (排水Sトラップ式)	2	セット	リサイクル品
鏡	KF-3545 (356×5×457)	2	枚	リサイクル品
公団流し	L=1200	1	台	リサイクル品
自在水栓	LF-12-13-U	1	個	リサイクル品

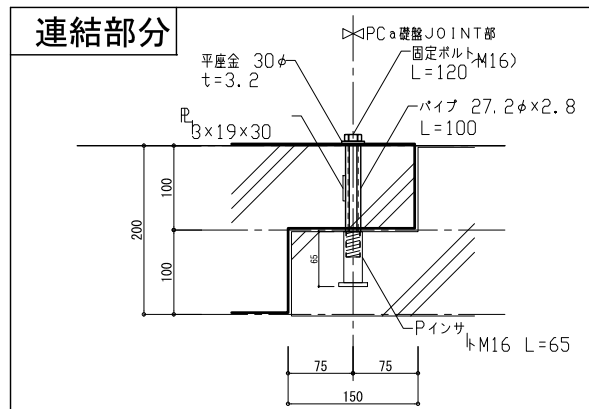
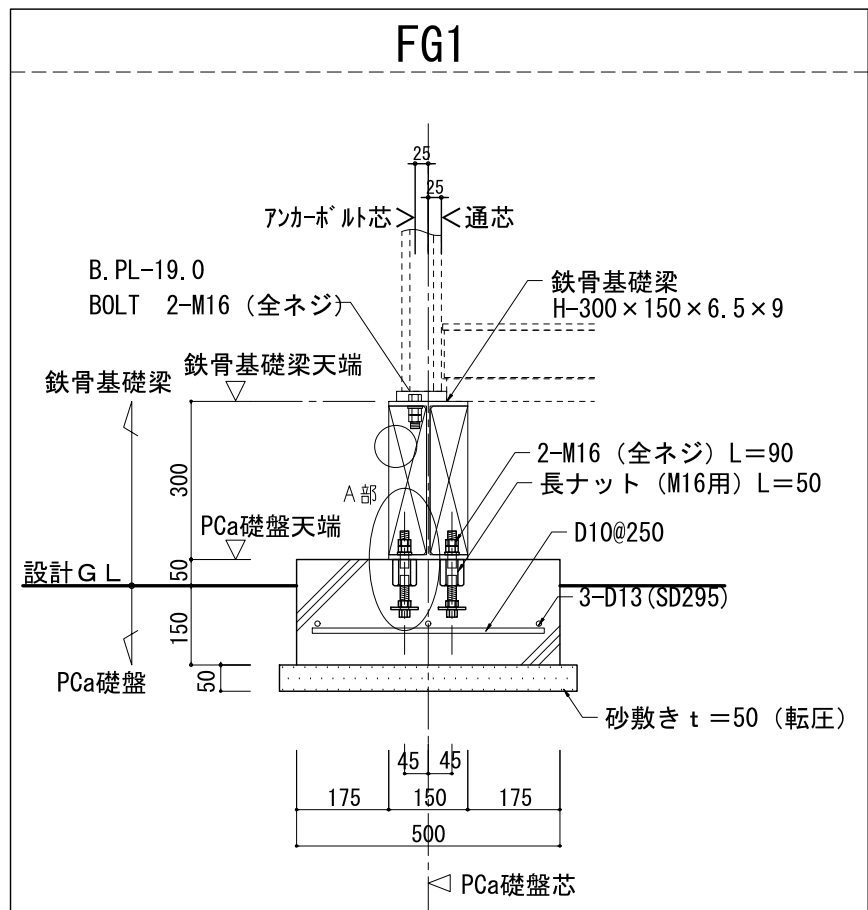




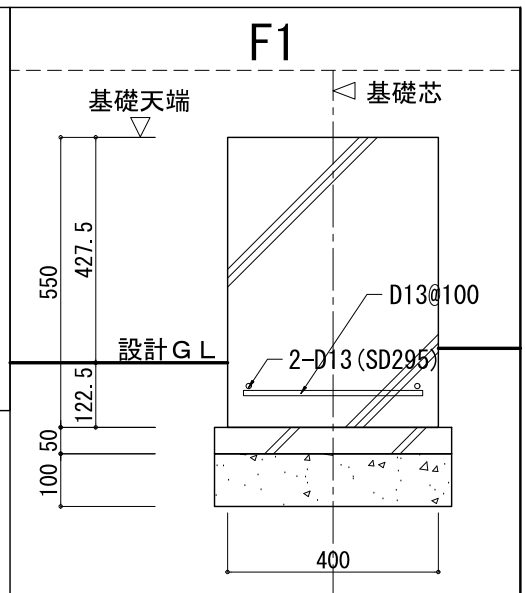
H鋼基礎伏図



PCベース伏図

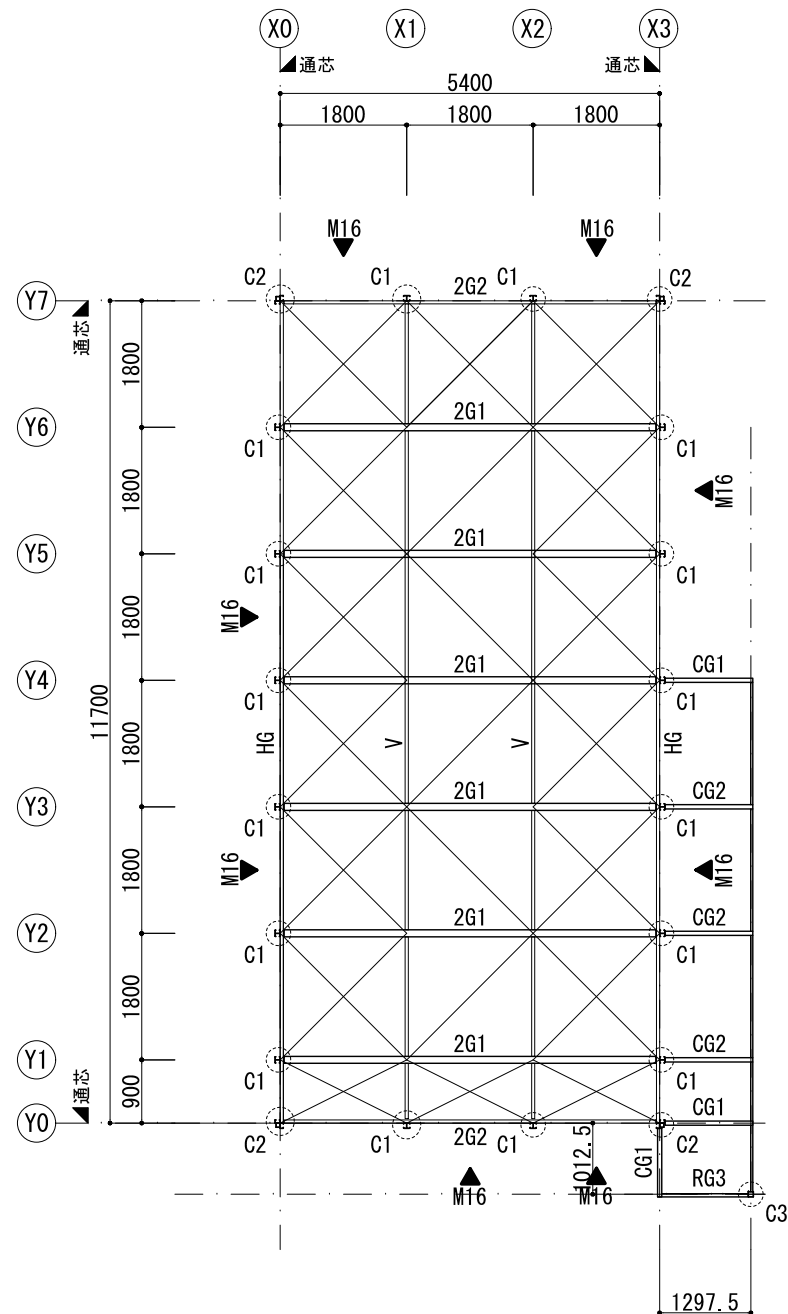


■使用材料等	
■プレキャストコンクリート	■現場打設部
・コンクリート : $f_c=30\text{N/mm}^2$	・コンクリート : $f_c=21\text{N/mm}^2$
・鉄筋 : SD295	・鉄筋 : SD295 (D16以下)
【設計地耐力】	
50kN/㎡ (長期)	100kN/㎡ (短期)

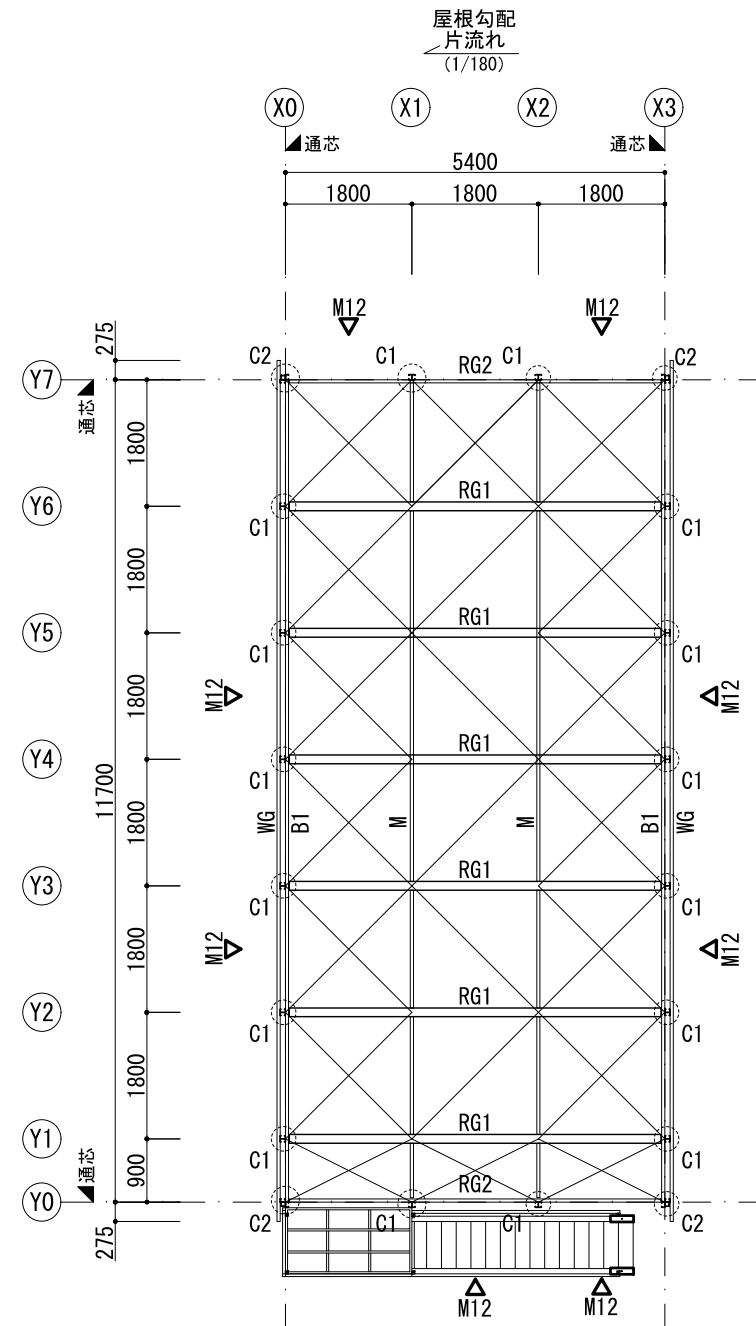


PCa基礎リスト ※PCa基礎は、下記の組み合わせにより構成する

F1P	1. 0K用 (有効: L=1, 800)	FT1P	耐力部用 (1)	FC1P	コーナー部用	F1.5P	1. 5K用 (有効: L=2, 700)	FT2P	耐力部用 (2)



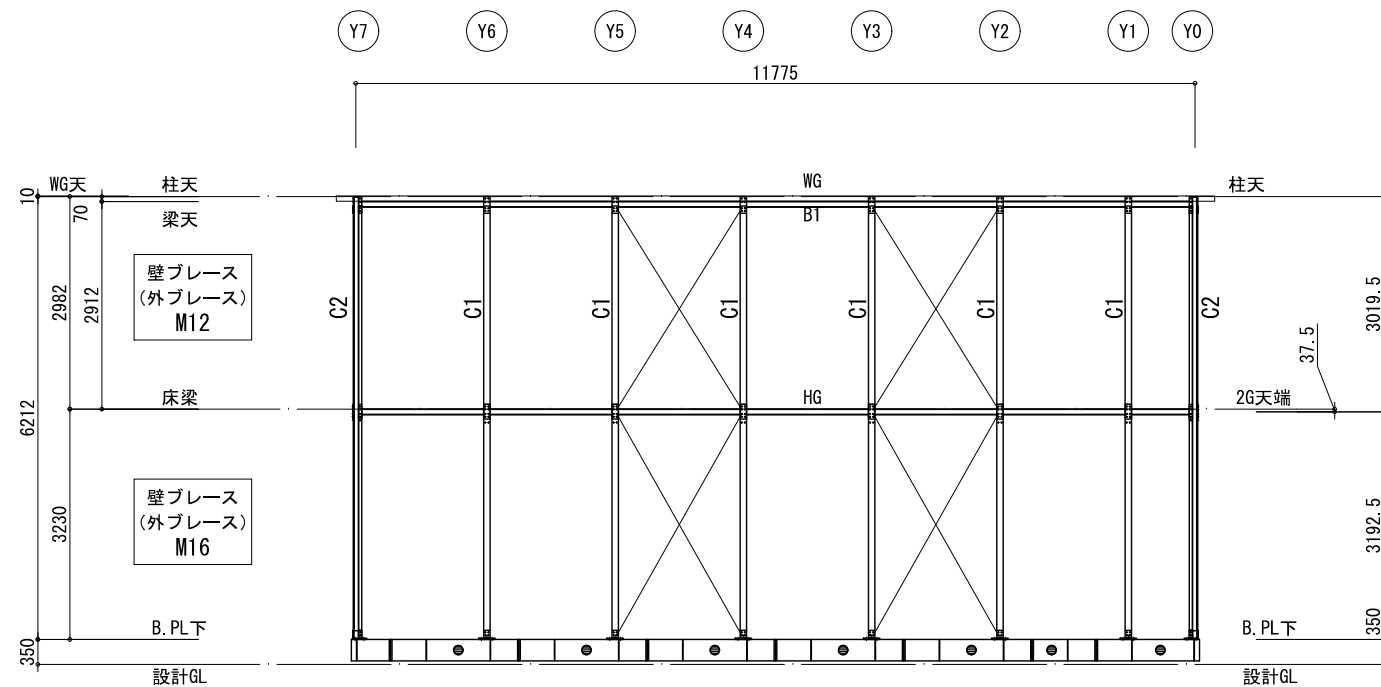
2階梁伏図



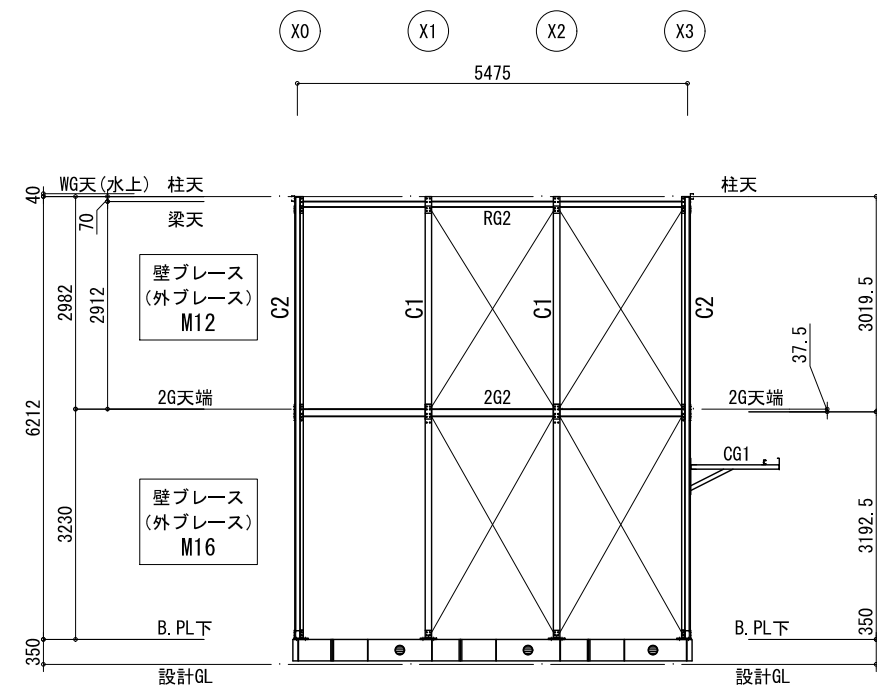
小屋伏図

凡例

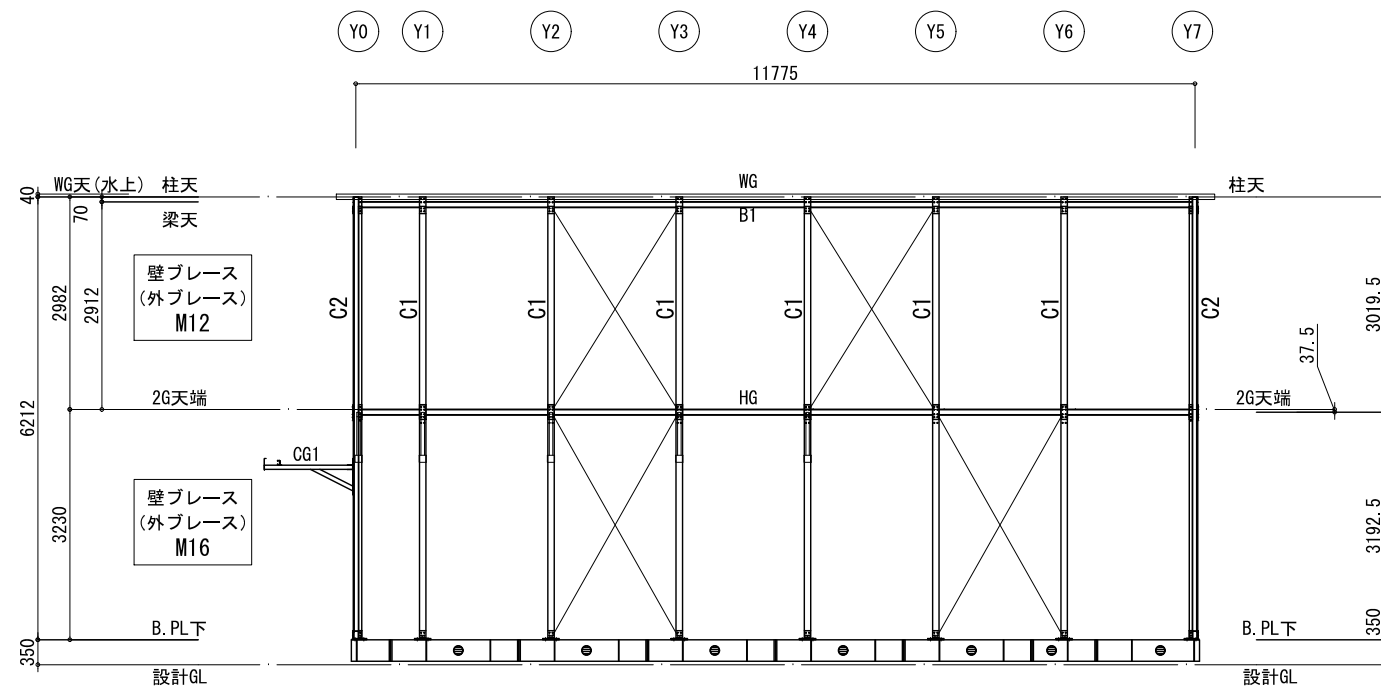
- ※ △ : 壁ブレースM12 1段 (外ブレース)
- ※ ▲ : 壁ブレースM16 1段 (外ブレース)
- ※ 水平ブレース M12



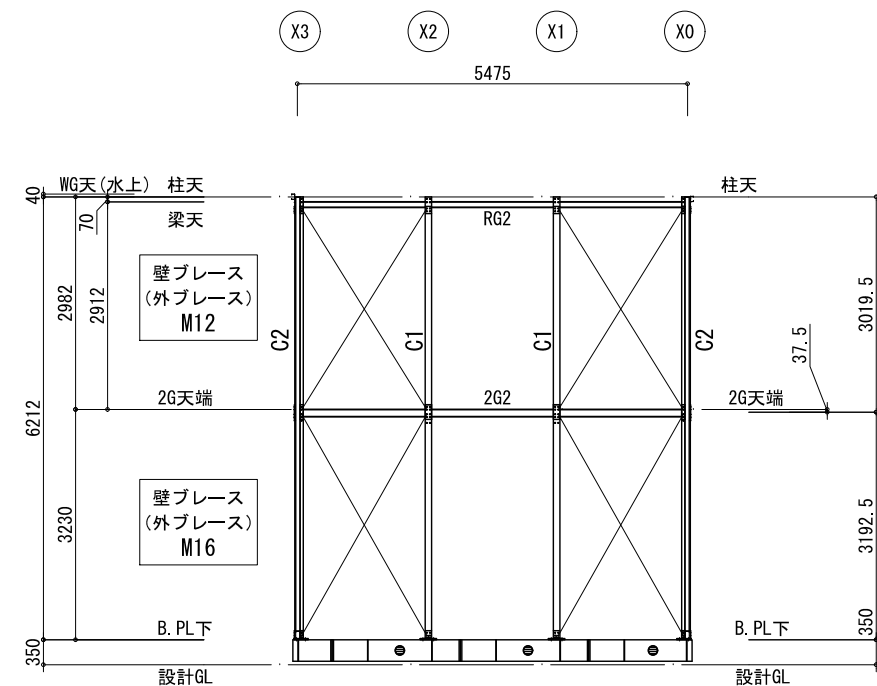
X0 軸組図



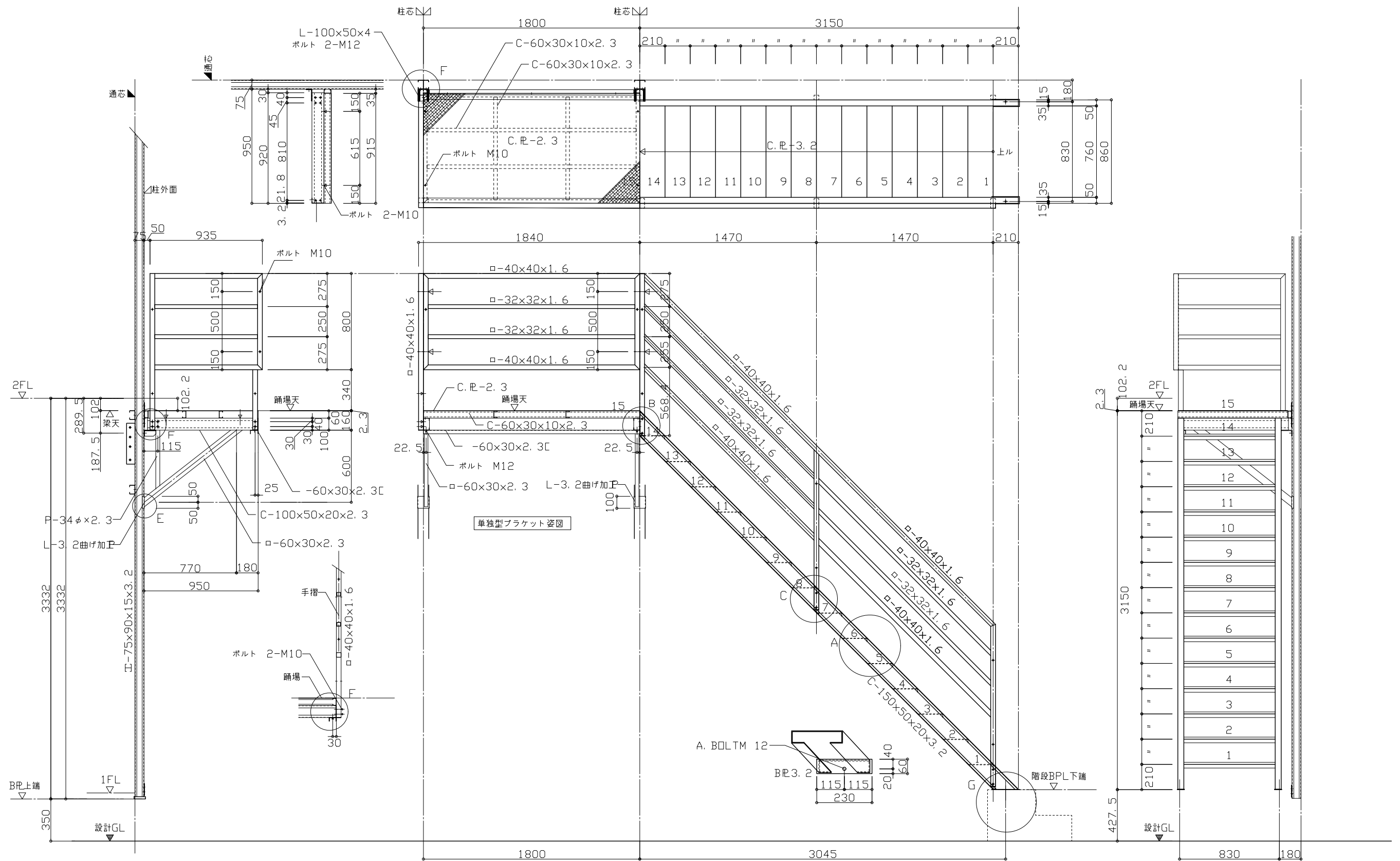
Y0 軸組図

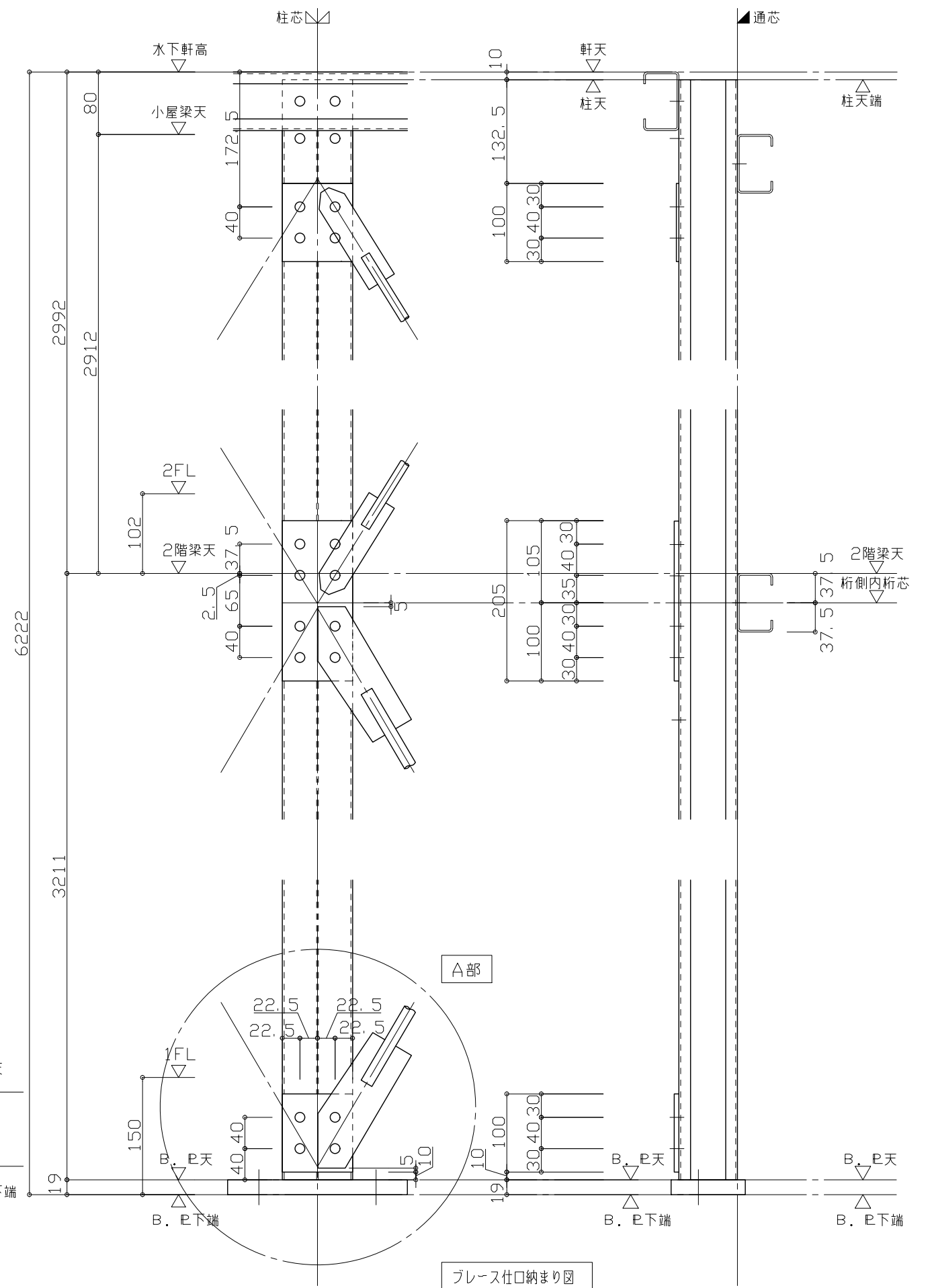
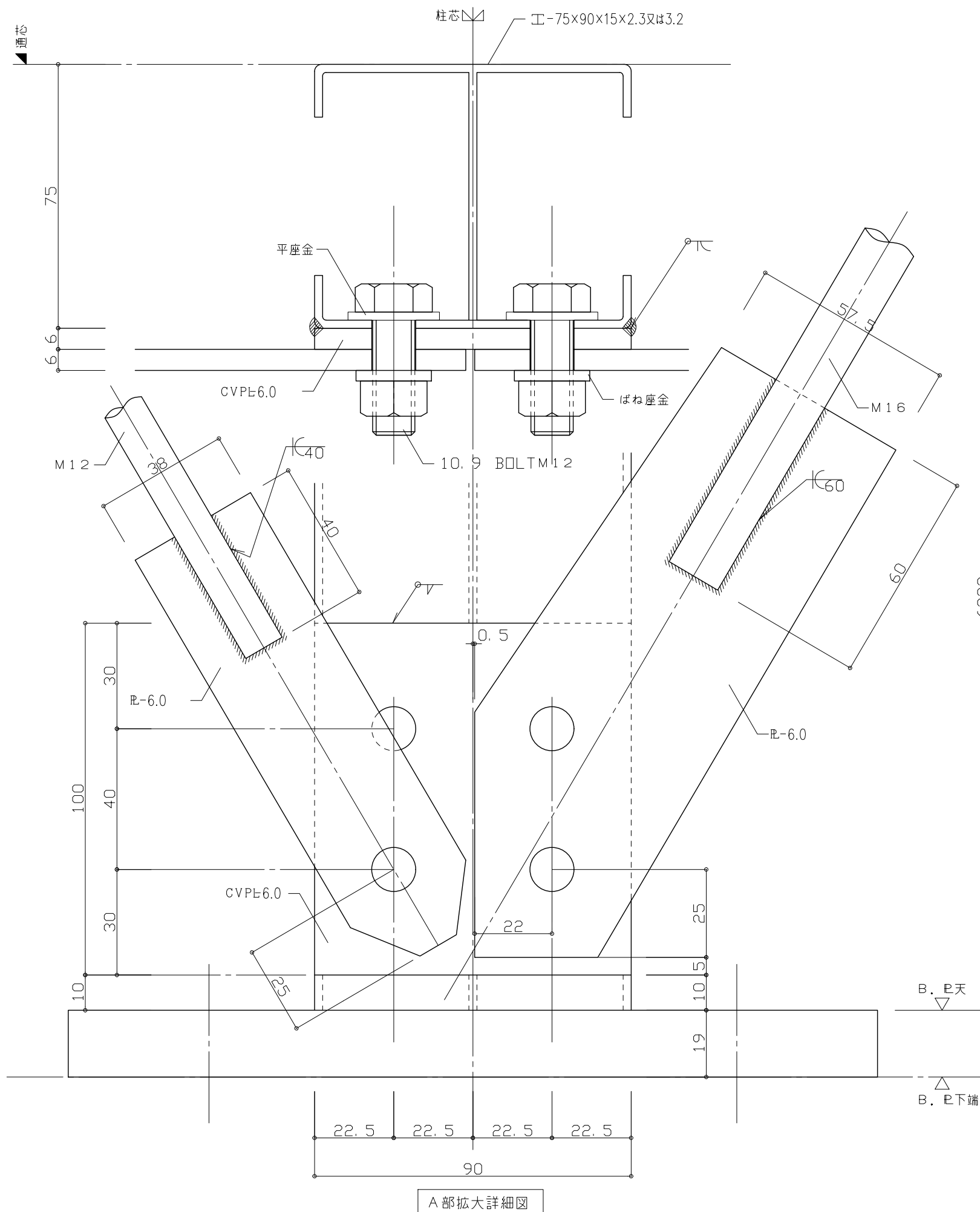


X3 軸組図

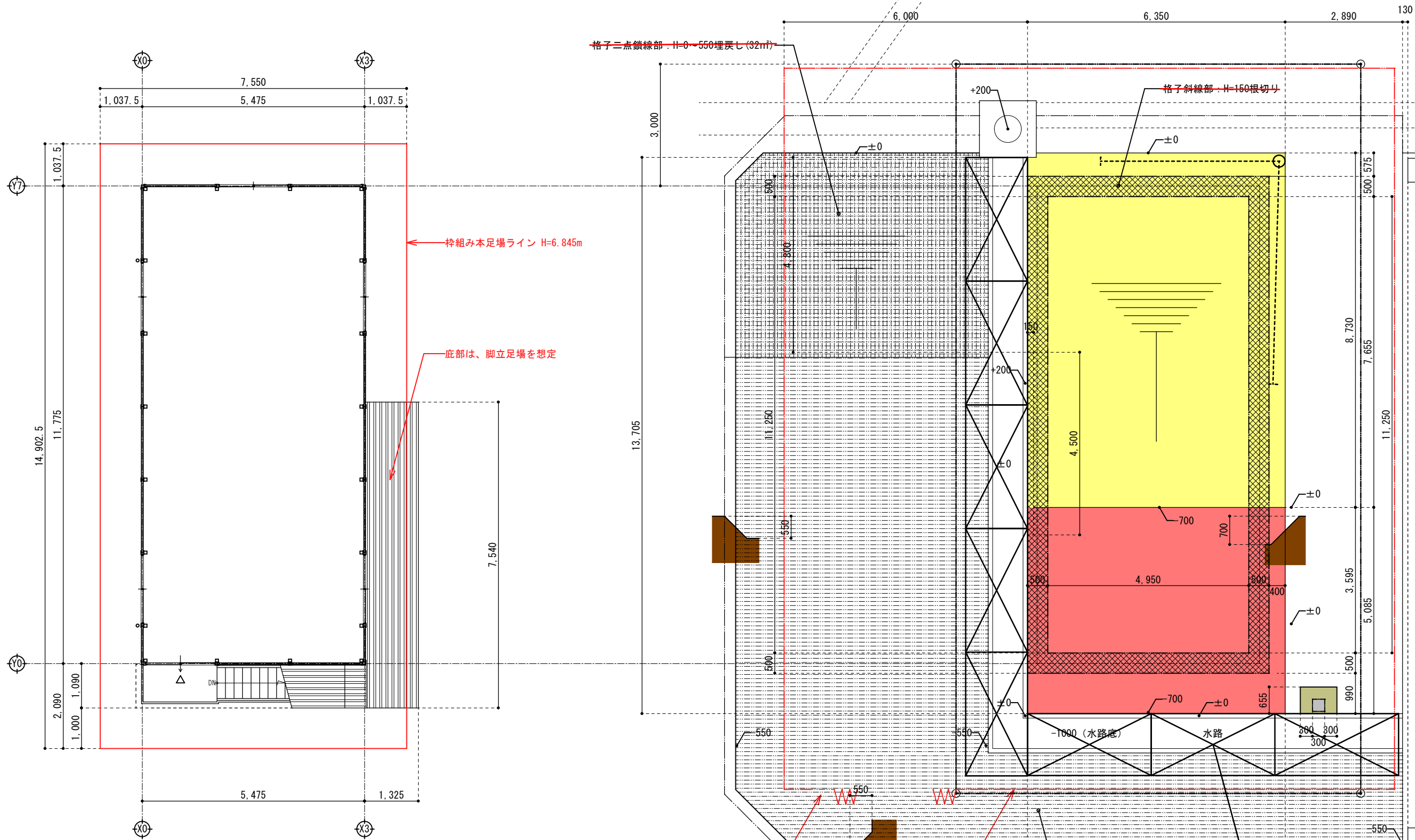


Y7 軸組図





 株式会社 ごとう計画・設計 1級建築士事務所 宮崎県知事登録 第1080号 1級建築士登録 第310283号 宇田津 直樹	〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂3375-1 TEL (0985)-73-6315 FAX (0985)-73-6978 E-mail: info@g-eekel.net	製作年月日	工事名称	工事種別
		担当者	水産研究・教育センター（仮称）管理棟建設工事に伴う仮設管理棟賃貸借 図面内容 壁ブレース詳細図 SCALE A1 : S=1/3 A3 : S=1/6	新築 図面No D-19



- | | | |
|----------------|--------|------------------|
| ① : H=700埋戻し | ④ : 欠番 | ⑦ : H=150根切り・埋戻し |
| ② : H=700~0埋戻し | ⑤ : 欠番 | ⑧ : H=150根切り |
| ③ : H=0~45埋戻し | ⑥ : 欠番 | |

~~+) 地盤改良 : (0.70x6.35x5.085) + (0.70/2)x6.35x0.70 = 42.0m³~~

株式会社 ごとう計画・設計
goto planning・design
1級建築士事務所 登録第1060号
1級建築士登録 第310283号 宇田津 直樹

〒980-0212
宮城県宮城県佐土原町下郷3375-1
TEL (0985)-73-6315
FAX (0985)-73-6978
E-mail: info@g-sekkel.net

製作年月日

担当者

工事名称

水産研究・教育センター増養殖支場（仮）仮設管理棟建設工事

図面内容

直接仮設図、土工区分図（参考図）

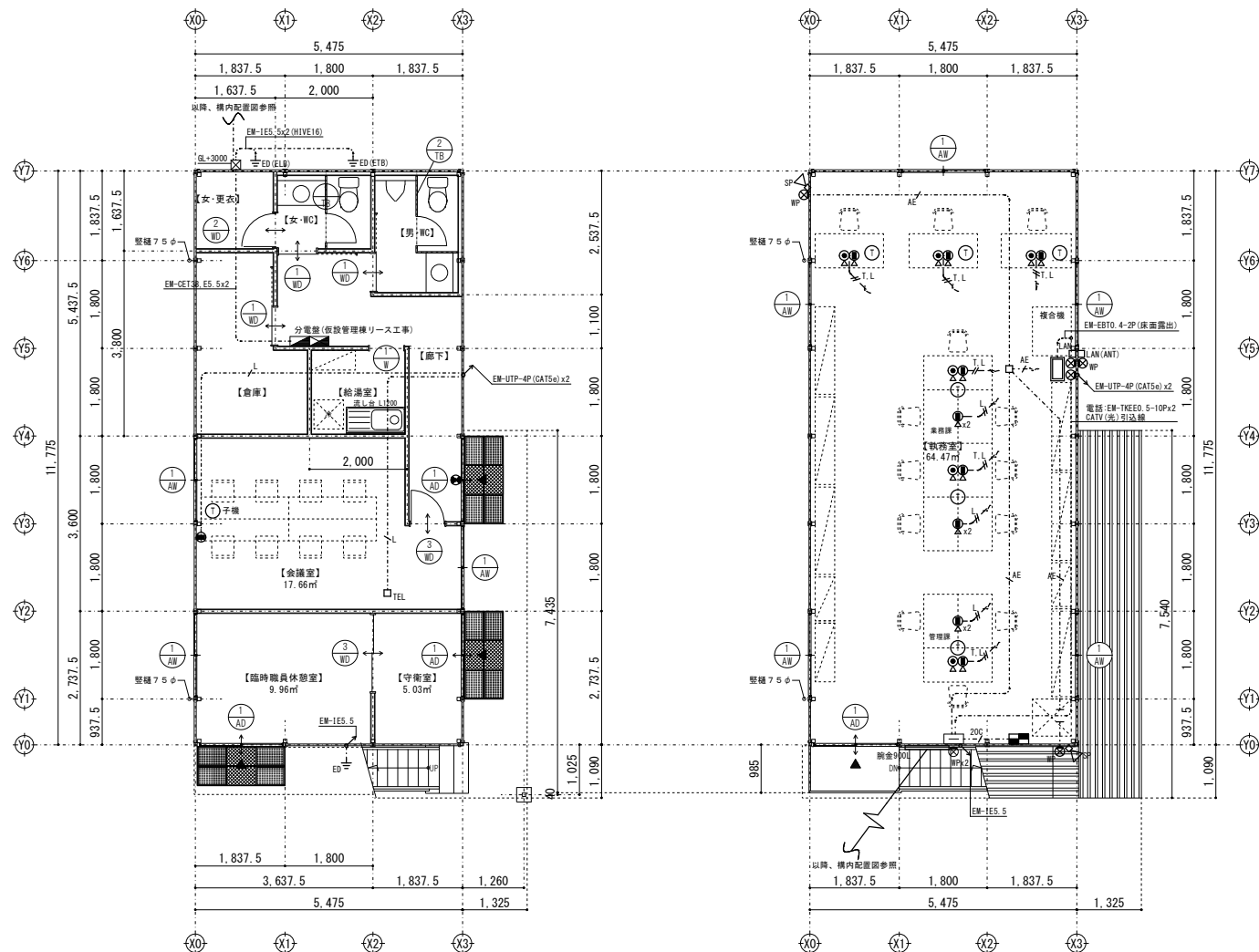
SCALE
A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

工事種別

新築

図面No.

D-20



凡 例	
[+100]	設計G Lからの高さを示す (1階)
▶	建物出入口
⊙	新設の建具符号
【備 考】	

注 記 ※仮設管理棟リース終了時撤去

・特記なき配管・配線は下記とする。	
EM-UTP-4P (CAT5e)	天井ふところ
EM-EBT0. 4-2P	床隠べい
EM-UTP-4P (CAT5e)	床隠べい
EM-UTP-4P (CAT5e) x2	床隠べい
EM-AE1. 2-3C	天井ふところ
EM-CEE1. 25-20C	天井ふところ

・二重天井内は、こがし配線とする。

・配線保護PF管は、仮設管理棟リース工事とする。

・既存管理棟より移設 (再取付)
※仮設管理棟リース終了時撤去

- 電話・情報・放送機器
- 電話主装置 (壁掛)
- ページングアンテナ (壁掛)
- 無線LAN内蔵ONU (※撤去別途)
- 情報セキュリティ機器
- 無線LANルーター

凡例 (新設) ※仮設管理棟リース終了時撤去

記 号	機 器 名 称
□	弱電端子盤 (仮設管理棟リース工事)
LANモジュラージャック Cat. 5Ex1	
フロアコンセント TELモジュラージャック 6極4心x1	
フロアコンセント LANモジュラージャック Cat. 5Ex1	
警報表示盤 (壁掛、15窓) ※コンセント回路より電源取得	
避難口誘導標識 面光型 (高輝度)	
ノズルプレート (大穴)	
WP	防雨入線カバー
WP	防雨入線カバー (仮設管理棟リース工事)
アウトレットボックス 08404 樹脂製	
フルボックス (200x200x200 SUS WP 塗装品)	
・スイッチボックス (1SSB) は、仮設管理棟リース工事とする。	

凡例 (再取付) ※既存管理棟より移設、仮設管理棟リース終了時撤去

記 号	機 器 名 称
□ TEL	コードレス電話用アンテナ
⊙	多機能電話機
⊙ 子機	コードレス電話機
□ LAN	無線LANアクセスポイント
□ LAN (ANT)	無線LANアンテナ (接続ケーブル共)
SP	ホーンスピーカー

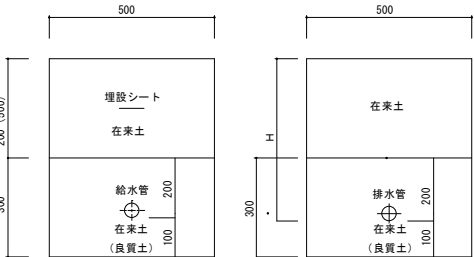
※取外し (新築管理棟へ移設)

※取外し (新築管理棟へ移設)

排水樹リスト

樹番号	名 称	規 格	設計 G.L (mm)	樹深さ (mm)	蓋 仕 様
①	プラスチック樹	90L 100-150	±0	250	ライト蓋(コンクリート保護)
②	〃	90Y 100-150	±0	260	ライト蓋(コンクリート保護)
③	〃	90Y 100-150	±0	300	ライト蓋(コンクリート保護)
④	〃	ST 100-150	±0	410	防護蓋(T-14)
⑤	〃	ST 100-150	±0	550	ライト蓋(コンクリート保護)
⑥	〃	90L 100-150	±0	700	ライト蓋(コンクリート保護)
⑦	〃	ST 100-150	±0	800	ライト蓋(コンクリート保護)
⑧	〃	45L 100-150	±0	900	ライト蓋(コンクリート保護)
⑨	既設インバート樹		±0	970	

※排水樹の掃除口保護は延岡市排水設備技術基準による。

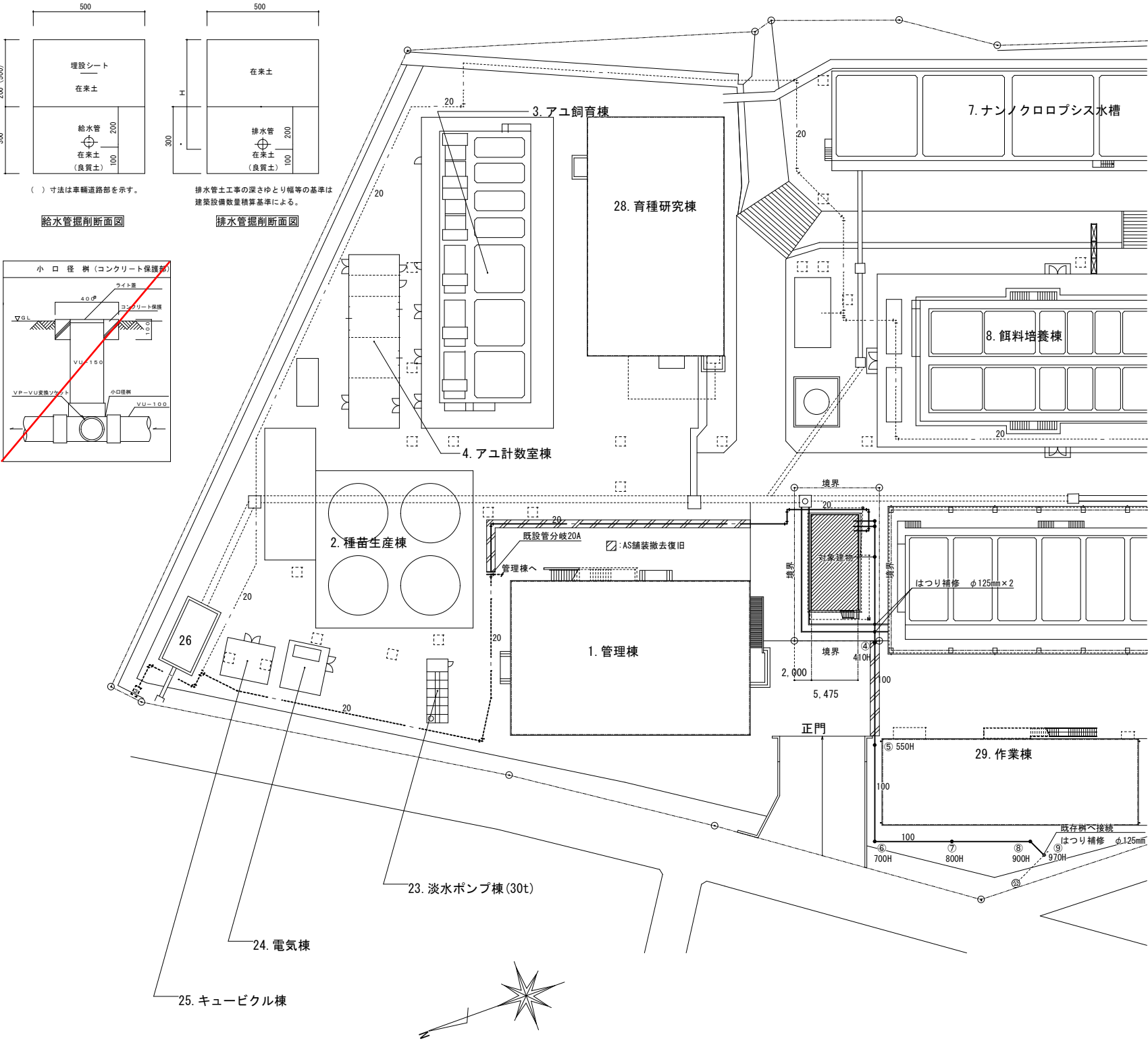
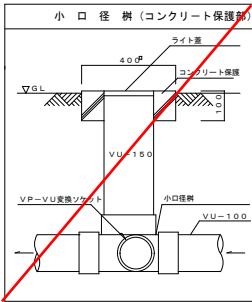


() 寸法は車輦道路部を示す。

給水管掘削断面図

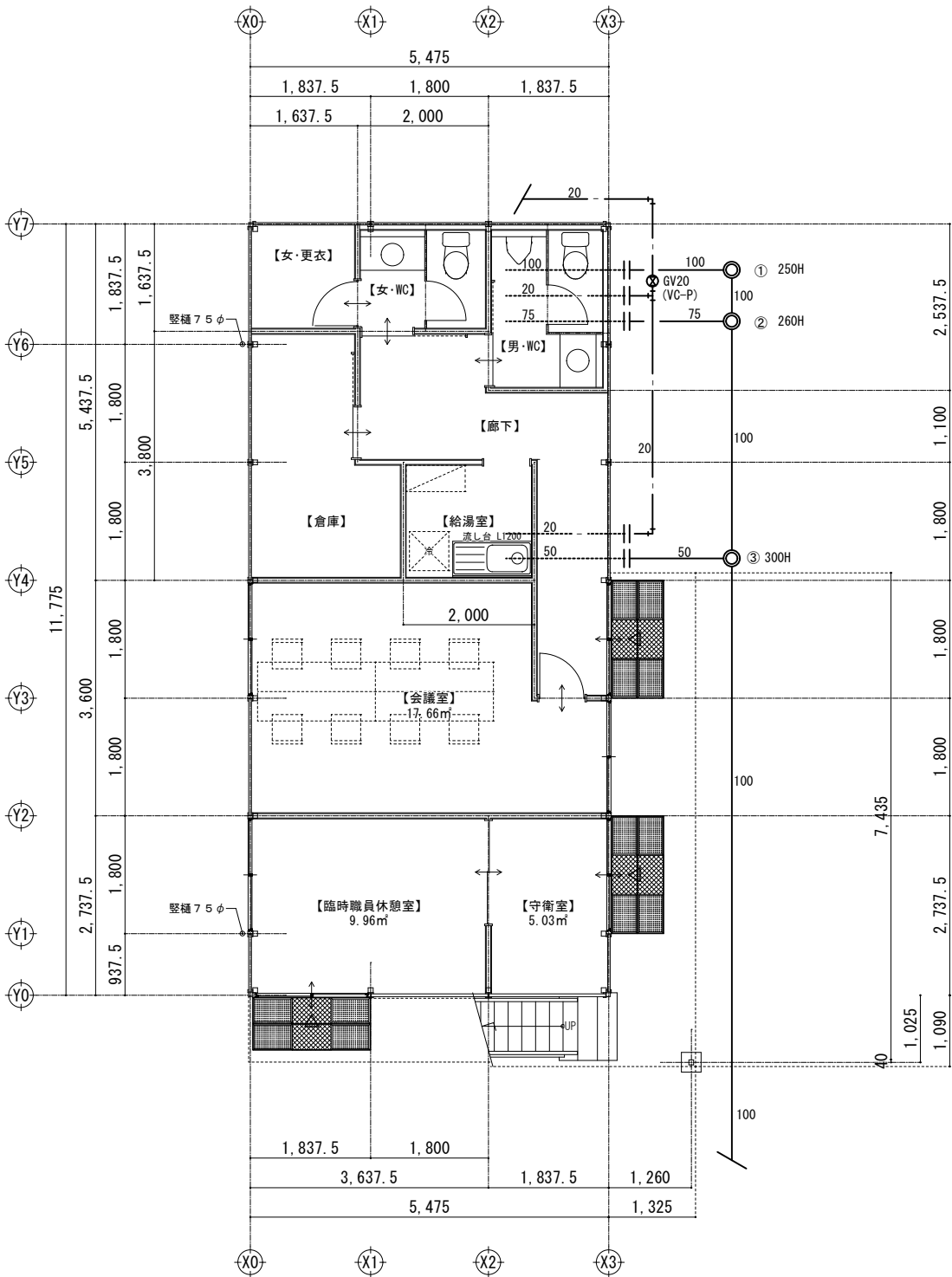
排水管土工事の深さゆとり幅等の基準は
建築設備数量積算基準による。

排水管掘削断面図



凡例

記 号	名 称	使 用 材 料	備 考
———	給水管（上水）	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（H1VP）	埋設
———	排水管	硬質塩化ビニル管（VP） 硬質塩化ビニル管（VUV）	屋外埋設（樹接続迄） 屋外埋設（樹間）



1 階平面図

||：一次側工事配管に接続

※空調・換気・給湯設備等はリース工事にて行う
※建屋は2階建て（2階は執務室のみ）